

近畿大学 建築学部

〒577-8502 大阪府東大阪市小若江3-4-1

TEL (06) 4307-3057 FAX (06) 6730-1320

[入学センター] TEL (06) 6730-1124

[入試情報サイト] <https://kindai.jp>

[建築学部サイト] <https://www.kindai.ac.jp/architecture/>

近畿大学建築学部

建築学科

2026



KINDAI UNIVERSITY

Faculty of Architecture



近畿大学建築学部のイイところ、

教員が多く
専門分野を
幅広く学べる!

先輩と交流が
建築研究会がある

ゼミが豊富で
学びたいことを
学べる!!

設計から
まちづくりまで
さまざまなことが学べる

現役建築家と
一緒にデザインを
学べる!

建築を基礎から
じっくり学べる!

仲間と
デザインのアイデアを
共有し、成長できる!!

実践的な演習が多く
たくさんの仲間と
刺激し合える!

1回生から実用的で
細かい指導が
受けられる!

大阪で学ぶ
すなわち
近大で学ぶこと

近大ゼミの
活動が活発で
知見が広がる

学生数が多く
自分の思い通りの
アイデアに出会える!

レベルに応じて
丁寧に指導して
もらえる!

西岡 千裕さん
建築学科[4年]
大阪府立港高校出身

沙 颯宇さん
建築学科[4年]
中国・北京交通大学附属中学出身

野原 悠希さん
建築学科[3年]
北海道旭川東高校出身

野瀬 梨紗さん
建築学科[4年]
兵庫県・親和女子高校出身

小塚 美紀さん
建築学科[1年]
京都府立南陽高校出身

三藤 璃久さん
建築学科[3年]
大阪府立四條畷高校出身

鈴木 志歩さん
建築学科[2年]
山形県立山形東高校出身

小塚 美紀さん
建築学科[1年]
京都府立南陽高校出身

野田 博 教授
建築学部長

野田 博 教授
建築学部長

スキなところは？

努力を認めてくれる
先生たちが側にいる

お互いに
鼓舞し合える
仲間に出会える

幅広い
学べるから
将来の選択肢
が広がる!

建築のマンマフル内容も
企画やマネジメントも
学べるところ

宮部 浩幸 教授
建築学部長

阿部 和歌さん
建築学科[3年]
大阪府立豊中高校出身

随時更新中!
建築学部の最新の情報は
ここでチェック

建築学部のより詳しい情報について、ぜひ建築学部の公式ホームページをご覧ください。本冊子には盛り込まれていない、さまざまな情報が入手できます。また、「NEWS RELEASE」や「TOPICS」は常に更新されています。定期的にチェックして、興味深い話題を発見してください!

ホームページへアクセス!
スマホ版もこちらから
<https://www.kindai.ac.jp/architecture/>

近畿大学 建築学部

CONTENTS

豊富な実習科目や
文系でも安心の学習体制で
建築学の基礎を確立

学びの特長

- 03 建築のシゴトカタログ/一級・二級建築士資格について
- 05 基礎教育をしっかり学べる

幅広い分野での活躍を実現する
独自のサポートが充実

キャリア

- 07 就職活動サポート体制/インターンシップ
- 08 将来の進路/卒業生インタビュー
- 09 進路内定者座談会

4年間の流れ

- 11 建築学部の4年間

学科・専攻紹介

- 13 建築学部の専攻紹介
- 15 建築工学専攻
- 17 建築デザイン専攻
- 19 住宅建築専攻
- 21 企画マネジメント専攻
- 23 建築界の最前線を担う教員たち/研究室・教員紹介

国際交流

- 27 留学

大学院

- 28 建築学専攻/実学社会起業イノベーション学位プログラム

施設

- 29 施設紹介

奨学金

- 29 奨学金

交通アクセス

- 30 交通アクセス

*本誌に掲載されている学生の学年表記は、2024年度のもので、また教員組織は2025年度のもので、2026年度は変更になる場合があります。

建築学部でめざせる 建築のシゴトカタログ

「建物をつくる」と一口に言っても、そこにはさまざまな工程があり、数多くの人々がかかわっています。そんな建築とつながりの深い仕事について見ていきましょう。

デベロッパー

都市開発やマンション分譲など幅広い開発事業にかかわります。土地の購入から、その土地につくる建物の企画、建設、販売、運営までを総合的に手がけます。

都市プランナー

都市計画のためのマスタープランや各種制度のためのリサーチ・計画業務と、開発事業や管理・運営などを行い、プロジェクト全体を取り仕切ります。

公務員

地方公共団体の職員として、都市計画行政に携わります。自治体によって都市整備局、土木建設など、かかわる部署はさまざまです。

コストプランナー

建設会社においてクライアントの意向を受け、設計事務所が作成した図面から実際に建物をつくり上げていくために必要な工事内容の項目、数量、コストを正確に算出します。

構造設計者

建築の設計者(意匠設計者)と打ち合わせて構造計画を提案。安全性や建設コストを意識した構造図・構造計算書などの構造設計図書を作成します。

ランドスケープアーキテクト

土地が持つ資源や環境などの諸要素を基盤に、都市空間や造園空間などを設計・構築。公園や緑地整備事業からマンション事業まで仕事は多岐にわたります。

建築家

クライアントの要望を聞き、敷地を読み、図面を描くというのが仕事の大きな流れ。総合建設業や組織設計事務所に所属し、意匠設計を担当する人もいます。

設備設計者

エアコン・換気扇などの空調や、トイレ・キッチン周りの給排水の衛生を担当する機械系と、電気系統を担当する電機系の2種類の仕事があります。

エネルギー・コンサルタント

省エネ性に優れた躯体構造・壁体構成を提案。設備機械の組み合わせを考えます。

ファサードエンジニア

建築の外装設計とコンサルティングを担当。ガラスやサッシ、構造体などの取り扱いや使用する建材を提案し、ファサード周りの図面を起こします。

建材メーカーなど

建物の建設には木材やセメント・コンクリートなど、さまざまな資材が用いられます。それらをディベロッパーなどに売り込むのが営業職の仕事です。

設計監理

工事に施工業者が図面通りの仕事をしているか、建設現場での工事監理を行うのが主な仕事です。違反建築や手抜き工事を防止します。

現場監督

建築現場において、設計図を基に建物などをつくり上げるために、品質・コスト・工期・安全・環境にかかわる全てのマネジメントを行います。

店舗開発・設計者

立地戦略や出店計画の立案、クライアントとの折衝、設計者や施工業者とのやりとりなど、店舗のオープンに向けてプロジェクト全体の進行役を担います。

照明デザイナー

光そのものをイメージして組み立てることからスタートし、器具やランプの種類、それらの配置や光の当て方などを検討し、空間の雰囲気演出をします。

家具デザイナー

オフィスや病院、図書館、美術館など、その用途と空間に合った家具を制作。建築家やインテリアデザイナーが本業と兼ねて行うこともあります。

インテリアデザイナー

マンションや店舗、百貨店、ショールーム、オフィスなど、対象に特化した付加価値を模索しながら、インテリアの設計・施工などを手がけます。

ファシリティマネジャー

働く人々の知的生産性向上のため、内装、空調設備といったハードと、ホスピタリティの高いサービスといったソフトの両面から、人々が働きやすい環境を追求します。

マンション管理士

マンションにおける構造上の問題や、維持・管理について、専門知識を生かした適切な助言や指導、援助などのコンサルティング業務を行います。

CASE.1

大規模都市開発

計画にそって都市を開発・整備する大規模都市開発。住宅や商業施設、公共設備の充実・合理化、防災力の強化、人口の集中・過密の緩和などを主な目的とし、推進されます。JR大阪駅北口に広がる操車場跡地、通称「梅田北ヤード」の再開発では、さまざまな職業が有機的に結びつき、プロジェクトが進行しています。



1 都市計画・再開発計画の立案



2 建築物や周辺環境の設計・デザイン



3 建設工事の着工



4 内装工事の着工



5 修繕・改築

竣工・オープン

CASE.2

戸建て住宅の建築

戸建て住宅には、事業主が事前に住宅を建てた「建売住宅」と、「注文住宅」の2種類があります。後者の場合、建築家などと打ち合わせを重ねる中で、一から自分の思い描く住宅を建てていくものと、ハウスメーカーが販売する商品(住宅)のパッケージの枠内で間取りなどを変更するセミオーダーがあります。



1 打ち合わせ・プランニング

建築家

クライアントの要望を聞いた上で、敷地を読み、図面を描き、建築の設計者(意匠設計者)として全体を統括します。

設計(ハウスメーカー)

施主に対して、自社の商品や工法の特徴などを紹介。また予算などを考慮した上で、施主の要望にそったさまざまな提案を行うのも大切な仕事です。

インテリアデザイナー

インテリアの設計・施工などを担当。各戸建て住宅の特色を最大限に生かすため、対象に特化した付加価値とデザインを調和させたプランを考えます。

技術開発

耐震性、省エネ性に優れた建材・工法の開発を行います。

省エネ住宅コンサルタント

構法プランナー

住宅設備プランナー

2 工事の着工



現場監督・工事責任者

建築現場において、設計図を基に建物などをつくり上げるために、品質・コスト・工期・安全・環境にかかわる全てのマネジメントを行います。

住宅建材メーカー

健康住宅アドバイザー

3 維持管理



完成

福祉住環境コーディネーター

高齢者や障がい者が安全で自立した生活を送れるような、また介護する側の負担を軽減できるような住環境づくりを考え、提案するのが主な仕事です。

家具コーディネーター

リフォームアドバイザー

クライアントの持つ住まいに対する悩みや不便さを理解し、暮らしやすさ、快適性、デザイン性などを考慮しながら、具体的なリフォームプランを考えます。

一級建築士と二級建築士の違いとは？

両資格で異なるのは扱える建造物の規模です。二級建築士には細かな規定があり、高さ13メートル以下、軒高9メートル以下、木造2・3階建は延べ面積1000平方メートル以下(平屋は制限なし)、鉄筋など木造以外は階数に関係なく延べ面積300平方メートル以下と定められているほか、学校・病院・劇場・映画館・公会堂・集会場・百貨店などの公共建築物は延べ面積が500平方メートル未満の建造物に限られます。一般住宅に関しては二級建築士で十分可能と言えます。実際に家の設計・工事監理では二級建築士が主体となって活躍しています。

一方の一級建築士はこれらの制限がなく、すべての施設や建物の設計・工事監理を行うことができます。なお、近畿大学建築学部では卒業と同時に一級建築士の受験資格を得ることができます。本学出身者の一級建築士合格者数は全国3位・西日本1位(2024年度)と、非常に高い実績をあげています。



一級建築士資格取得までの流れ



“一級建築士”合格実績

2024年度 一級建築士試験

大学別ランキング/

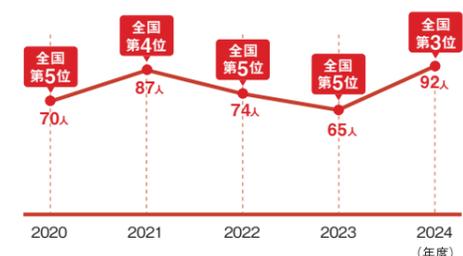
全国
第3位

合格者数
92人

(西日本 第1位)

※試験の前後にかかわらず、免許登録の際までに、実務経験2年以上
※A+B=2年以上
※建築学部では一級建築士資格試験の対策として、特別課外授業を行っています。

過去5年間の“一級建築士”合格者数順位(近畿大学)



出典:公益財団法人建築技術教育普及センターHP

基礎教育をしっかりと学べる

1年次から豊富な実習科目

建築図面の読み描きを中心に総合的に建築を学ぶ!

建築では図面を介して必要な情報を伝達します。いわば、図面は建築専門家にとっての共通言語です。建築学部では1年次前期から建築図面を学ぶ演習を用意し、総合的に建築を理解します。スケッチの方法や図面の描き方を一から丁寧に学びます。

基礎製図 [1年次前期]

建築図面のトレースや模型制作を通して製図の表現方法と図面の意味を理解します。



建築基礎演習 [1年次後期]

2次元の図面を3次元に変換する仕組みを理解します。また、後半では建物の構造や環境・設備を実際の図面や建物と照らし合わせながら理解します。



スケッチ表現 [1年次前期]

建築学部には物事を観察する能力や、情景をイメージし描く能力が必要とされます。スケッチ表現では、建築学に必要な絵画・造形的要素について学びます。



3D・CAD演習 [1年次後期]

コンピュータで図面を描くCAD (computer aided design) は建築図面の作製に必要不可欠な存在です。1年次からCADに触れ、最新の作図方法について学びます。



1年次から近大ゼミがスタート

少人数教育のもと建築学の幅広い分野に触れる近大ゼミでの学び

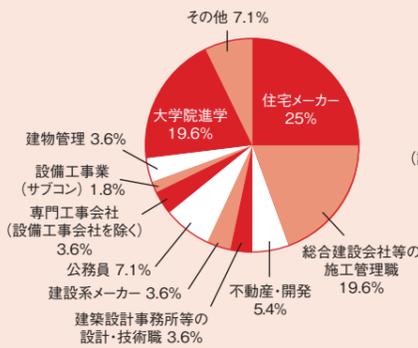
建築学は設計・計画・環境・構造などの多くの専門分野から成り立っています。1年次からはじまる近大ゼミでは少人数教育のもと、建築学の全体像をとらえるとともに、建築専門家として必要なコミュニケーション能力とプレゼンテーション技術を学習。幅広い建築学の分野に触れ、学び、自分の興味や関心を探っていきます。そのなかで、3年次以降にはじまる本格的な研究の基礎となる知識や技術を確立し、専門家としての第一歩を踏み出します。

文系からでも安心の基礎教育

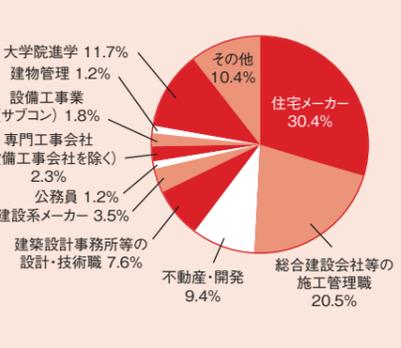
習熟度別のクラスで、建築に必要な数学・物理をしっかりと、丁寧に!

従来の工学教育における数学・物理は、理系の学生を前提とした幅広い内容でした。しかし建築学に限ってみると、重要な範囲は基礎的な数学のなかでもごく一部の、構造力学と環境工学にかかわる分野で、その内容は決して難解ではありません。そこで建築学部では、習熟度に応じたクラス編成で、文系出身でも必要な知識をゆくりと確実に身につけられる安心の学習体制を整えています。数学・物理がいかに建築に役立てられるかという実践的知識に基づいて学習するため、理系出身の学生にとっても役立つカリキュラムです。

文系入試学生の進路分布 (2024年3月卒業生)



理系入試学生の進路分布 (2024年3月卒業生)



幅広い分野の研究に触れながら、進みたい道を探せます



入学前は「建築の仕事に就きたい」というだけで、設計なのか企画なのか細かい進路は未知でした。近大ゼミでは、建築の幅広い分野を基本から学べるので、研究室ごとに異なる講義や課題を通して自分が興味を持てる分野を見つけられます。私が楽しさを覚えたのは、自分の想像を形起こす設計作業。仲間と互いの作品について意見やアイデアを交わし、完成へと導いていく過程におもしろさを感じています。

渡邊 芽さん 建築学科[4年] 栃木県・作新学院高校出身

数学・物理から離れた文系出身者も、復習からスタート



文系でも建築の道に進めると知り、近大の建築学部へ。理系科目が苦手な自分がついていけるか不安でしたが、習熟レベル別のクラス編成で高校の復習から始められるので、万全な状態で2年次からの構造の勉強に臨めました。基本的には新たに学ぶ定義や計算式をもとに講義が進むため、しっかりと聞いて復習すれば理解できます。建築デザインに関わる場で活躍できるよう、今は目の前の課題に取り組む日々です。

鈴木 聖梨さん 建築学科[2年] 京都府・同志社国際高校出身

文系専用クラスの学習内容も紹介中!
建築学部Webサイトをチェックしよう!

➔ <https://www.kindai.ac.jp/architecture/about/arts/>



製図やスケッチなど、1年次から演習科目を多数開講し、より実践的に学習。そのほか習熟度別による数学・物理の講義を設けるなど、基礎から無理なく、じっくりと建築学の専門領域を学ぶことが可能です。

カリキュラム

技術とデザインを調和させた建築教育

専門科目

1年次	共通				
必修科目	基礎製図 建築構法	物理学及び演習 3D・CAD演習	静定構造力学1 PICK UP! 1 基礎数学	建築基礎演習 環境工学概論	情報処理基礎 建築設計概論 建築概論 PICK UP! 2
選択科目	スケッチ表現	静定構造力学演習1	数学概論	情報処理実習1	

2年次	建築工学・デザインコース			住宅・企画コース	
必修科目	設計演習I 建築設計論 静定構造力学2	建築計画総論 音・光環境 PICK UP! 4 近代建築史	設計演習II アーバンデザイン 不静定構造力学 熱・空気環境	住宅計画 PICK UP! 3 現代ハウジング 企画マネジメント総論	建築材料 建築史概論 構造概論
選択科目	2D・CAD演習 静定構造力学演習2	情報処理実習2 不静定構造力学演習		建築設計論 近代建築史 熱・空気環境 構造力学演習 音・光環境 PICK UP! 4	

共通 教養科目	<p>【人間性・社会性科目群】 自校学習／教養特殊講義A／現代社会と法／環境と社会／技術と倫理／人権と社会1・2／住みよい社会と福祉／暮らしのなかの憲法／資源とエネルギー／企業倫理と知的財産</p> <p>【地域性・国際性科目群】 国際化と異文化理解／ビジネスモデルとマネジメント／教養特殊講義B／国際社会と日本 国際経済と企業の国際化／メディアの読み方</p> <p>【課題設定・問題解決科目群】 近大ゼミ1・2／教養特殊講義C／日本語の技法／キャリアデザイン／プレゼンテーション技術／データテラシー入門／暮らしのなかの起業入門</p> <p>【スポーツ・表現活動科目群】 健康とスポーツの科学／生涯スポーツ1・2</p>
外国語科目	<p>【英語】 英語演習1・2・3・4・5・6／イングリッシュ・スキルズA1・2・3・4／イングリッシュ・スキルズB1・2・3・4／留学英語</p> <p>【第二外国語】 ドイツ語総合1・2・3・4／フランス語総合1・2・3・4／中国語総合1・2・3・4／韓国語総合1・2・3・4</p>

PICK UP! 1

静定構造力学1

各種構造を理解するための基礎力をつける講義

建物は日常生活時はもちろん、地震や台風などの自然災害時に命や財産を守るシェルターの役目を果たさなくてはなりません。そのためには、設計者は建物にどのような力が働き、部材がどのように抵抗するのかを判断する必要があります。静定構造力学1はコンクリート構造、鉄骨構造などの各種構造を学ぶための基礎学問として重要な役割を持っています。

PICK UP! 3

住宅計画

「空間」と「生活」の対応関係から住様式を学ぶ

住宅は建築物の中で最も多くつくられており、人々の生活を支える器です。住宅計画では「空間」と「生活」の対応関係に注目し、さまざまなライフスタイルに対応した住様式について学びます。

PICK UP! 2

建築概論

建築の歴史を概観し、そのプロセスを学ぶ

建築を表す代表的な言葉として「用・強・美」があります。建築には、環境、計画といった用と、構造といった強、そしてデザイン面での美がバランスよく成り立っていないとなりません。建築概論では、近代から現代に至る建築の歴史を概観し、その生産プロセスについて解説します。

PICK UP! 4

音・光環境

音や光による人への影響を学び、より良い環境づくりをめざす

建築学における音環境制御の目標は、騒音の防止と良い音・響きの実現です。同様に光環境では、見やすさの確保とともにグレア(まぶしさ)などの防止が必要となります。音・光環境では、これらの要素が人の心理や生理に及ぼす影響について学び、環境をコントロールし、より良い環境をつくり出す方法について学びます。

※カリキュラムは2025年度のもので、2026年度は変更になる場合があります。

学部・キャリアセンターが一体となり、総合的に就職活動を支援します

学部独自の就職支援に加え、キャリアセンターによる充実のサポートにより、一人ひとりの夢の実現をバックアップします。



キャリアセンター

入学直後から利用可能

総合大学のスケールメリットを生かしバックアップ

キャリアセンターは就職の相談だけでなく、1年生から利用することができます。キャリアガイダンス、業界研究会、課外講座、キャリア教育プログラムなど低学年から利用できるプログラムを多く揃えています。就職活動時には、日本有数の総合大学であるスケールメリットを生かし、幅広く求人情報等を入手することができます。エントリーシート・履歴書の添削や面接指導から各種セミナーの実施まで、一人ひとりの希望に合わせたサポートを行っています。

学部独自の就職サポート

就職担当に学部の教員を設け、最新の業界情報を伝える

学部内に就職担当の教員を設けており、建築業界を中心に年間約100社の企業が求人のため来校されます。そこで得られた各社の動向やスケジュールを夏休み、冬休み前に開催する学部独自の就職ガイダンスで学生たちにフィードバック。また、春休み期間中にOB・OGを迎えての業界研究会も行い、仕事や就職活動についてのアドバイスをもらいます。そのほか、中小の設計事務所などに関しては、実務経験豊富な教員たちが企業情報などをフォロー。さまざまな学生のニーズにこたえます。

卒業生による意見交換会を開催。業界の“ナマの声”を進路選択に生かす

建築学部では、各ゼミにおいて教員が学生一人ひとりに親身になって相談に乗り、就職活動をバックアップ。業界とも深いつながりのある教員たちが、学生一人ひとりの個性に合わせてアドバイスを送ります。また、卒業生を迎えての意見交換会も開催。仕事のやりがいや現場の雰囲気など、現役で働く先輩たちの“ナマの声”を通して業界のことを深く知り、進路選択に生かします。

建築学部を対象とした就職ガイダンスなどを開き、よりきめ細かな指導を実施

大学全体での就職ガイダンスや企業セミナーはもちろん、建築学部独自の就職説明会も開催し、よりきめ細かな指導を実施。また、学生全員に就職活動に関する情報をメールで配信し、就職説明会のスケジュールなどをお知らせします。

インターンシップ

在学中に実際に企業で働いてみる、

建築学部独自のインターンシップ制度を導入

建築業界のさまざまな企業との連携によって成り立っているインターンシップ制度は、主に3年次の夏に実施。約20社におよぶ企業や行政機関などのなかから、行きたい実習先を希望することができます。約2週間にわたって現場で働くことで、実際の仕事内容や流れを知り、やりがいの一端を肌で感じるとともに、その職種に対する自分の思いや適性を確かめられます。また建築学部ではインターンシップ制度のほか、自由にメニューを決めてボランティアに取り組む社会奉仕実習なども導入しています。

建築家の設計業務を間近で見、思考プロセスを知れる貴重な時間



意匠設計の職をめざす上で現場の設計業務や流れを知りたいと思い、建築設計事務所のインターンシップに参加しました。計画段階にある建築物の模型を作成するほか、打合せへの同席や竣工したばかりの建築物を見学するなど、講義や演習ではできない貴重な経験でした。プロの建築家に、設計課題のエスキスしてもらえたのも大きな実り。設計業務を間近で見感じたのは、学ぶべきは建築の知識だけではないということです。絵画や彫刻、写真などの芸術分野から政治、経済、文学まで幅広く興味のアンテナを向け、多角的に建築のあり方を考えることが大切だと気づけた時間でした。

インターンシップ先:坂本昭・設計工房CASA 進藤 明日花さん 建築学科 建築デザイン専攻[4年] 北海道・藤女子高校出身

建築現場を体験した8日間、監督業や施工の仕事理解が深まった



建築施工に興味があり、実際どんな業務があるのか、大学で学んでいる知識がどのように現場で生かされるのかを知りたくてインターンシップに参加。20階建てマンションの建築現場に立ち会い、朝礼や昼礼での確認作業、協力会社との打合せといった監督業について理解を深めたほか、備品を使った作業も体験しました。そこで学んだのは、監督業は、周囲との細やかな意思疎通が必要であるということです。さらに高層の建築物となると、安全対策にもより力を入れなければなりません。左官や塗装など多彩な職種の方たちが一つの作業所で働くなかで、落下物や転倒事故など、施工だけでなく、安全管理に配慮することの重要性について学びました。

インターンシップ先:株式会社澁川組 石井 航路さん 建築学科 建築工学専攻[3年] 和歌山県・開智高校出身

インターンシップ実施企業・団体の一例

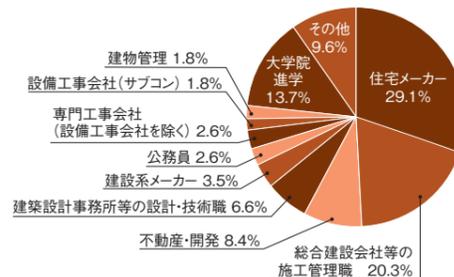
- 大成建設 ■真柄建設工業 ■浅川組
- 藤木工務店 ■内藤建築事務所
- 浅井謙建築研究所 ■汎設計
- 坂本昭・設計工房CASA ■京都府庁
- 奈良県庁 ■東大阪市役所 ■羽曳野市役所

将来の進路

建築を中心とする幅広い知識が評価され、多方面で活躍しています

建築学部の学生は建築技術・文化・歴史・芸術などを幅広く学ぶため、さまざまな方面で活躍することができます。建築関連企業が主な就職先となりますが、最近は住宅分野に進出する企業が増加しており、住宅関連分野への就職が増えています。設計事務所、官公庁、設備・材料関連企業のほか、情報・サービス業など、建築分野以外でも建築を学んだ学生たちが活躍しています。

就職・進学状況 (2024年3月卒業生)



主な就職先(2023年～2024年3月卒業生)

- [住宅メーカー]** ■積水ハウス ■大和ハウス工業 ■一条工務店 ■住友林業 ■三菱地所ホーム ■三井ホーム ■旭化成ホームズ ■パナソニックホームズ ■鹿島建設 ■大林組 ■清水建設 ■竹中工務店 ■長谷工コーポレーション ■五洋建設 ■戸田建設 ■西松建設 ■奥村組 ■鴻池組 ■高松建設 ■前田建設工業 ■鉄建建設 ■鏡高組
- [リフォーム]** ■積水ハウスリフォーム ■パナソニックリフォーム ■住友林業ホームテック
- [不動産・開発]** ■近鉄不動産 ■フジ住宅 ■生和コーポレーション ■大成有楽不動産 ■大東建設
- [建物管理]** ■URコミュニティ
- [製造業]** ■タカラスタンダード ■三和シャッター工業
- [専門工事]** ■ダイタン ■きんてん ■かんてんエンジニアリング ■本四高速道路ブリッジエンジニア ■東原工業
- [設計事務所]** ■NTTファシリティーズ ■エスパス建築事務所 ■中西正佳建築設計事務所
- [官公庁・公社]** ■財務省近畿財務局 ■大阪市 ■堺市 ■池田市
- [その他]** ■東海旅客鉄道 ■ANA大阪空港 ■TBSテレビ ■大塚商会 ■インターネットイニシアティブ ■USEN-NEXT HOLDINGS ■りそな銀行
- [進学]** ■近畿大学大学院 ■京都大学大学院 ■東京科学大学大学院 ■神戸大学大学院 ■大阪公立大学大学院 ■京都工業繊維大学大学院 ■奈良女子大学大学院 ■早稲田大学大学院 ■関西学院大学大学院

卒業生インタビュー

パナソニック ホームズ株式会社

社会人に必要な心構えが身についた



技術管理課に所属し、ZEH(ネットゼロエネルギーハウス)普及に向けた取り組みや新規技術テーマの開発を担当。在学中の学びで役立っているのは、エネルギー消費0のモデル住宅を提案・建築する大学対抗コンペ「エネマハウス」の経験です。課題に対する解決策の組み立て方、周りを巻き込む力など社会人として必要なスキルが身につきました。

熊切 梨沙子さん 建築学科 2018年3月卒業

株式会社竹中工務店

お客様の想いをカタチにするやりがい



設備職能として入社し、現在は内勤部門で電気・衛生・空調の設計を担当。さまざまなステークホルダーと協力しながら、日々進化するデジタル技術を駆使し、図面の作成を行っています。近大の建築学科のゼミ活動や基礎演習は実務に即した学びが多く、会社人生において、在学中に学んだことが役立つ場面が多々あることを実感しています。

奥田 吏司さん 建築学科 2017年3月卒業

積水ハウス株式会社

演習などで培った実践力が武器に



賃貸住宅の設計に携わっています。在学中は、豊富なカリキュラムやゼミ演習を通して、手描き図面を描けるようになったこと、住宅の設計についての作法を学んだこと、そして敷地状況を読み込む能力を身につけられました。それらが現在の仕事にも役立っていると強く実感している毎日です。お客様から信頼される設計士になることが目標です。

小野 風見花さん 建築学科 2017年3月卒業

近鉄不動産株式会社

住宅チームで、関西のまちづくりに貢献



自社賃貸物件の管理やサブリースなどを担当。不動産開発後の持続性や運用について学ぶやりがいある日々です。企画マネジメント専攻でのまち歩きや資料づくり、地図作成が役立つほか、デベロッパーとしてまちをどんな視点で捉えるのかなど、在学中の実践的な学習が活かされています。いずれは大規模な開発プロジェクトに携われるよう成長していきたいです。

北田 志香さん 建築学科 2024年3月卒業

大阪市

大阪市をより住みよく魅力的なまちに



都市整備局の住宅政策課で、住まい情報センターの指定管理者制度に関することや、住宅政策の計画などに携わっています。住宅の改修補助に関する新事業の創設にも関わり、要綱制定なども担当。事業がスタートしたときは達成感がありました。建築の仕事は、設計だけではなく、まちづくりや環境・福祉など多彩。近大で幅広く学べたことが今に生きています。

口井 みなみさん 建築学科 2020年3月卒業

旭化成ホームズ株式会社

お客様対応に生きる、ゼミでの学び



戸建住宅の施工現場における品質管理、原価管理、工程管理などが工事課での仕事です。全ての現場で施工内容が違いため、現場経験が増えるたびに新しい学びや発見があります。ゼミの活動で役立っているのは、工具を使った作業やいろんな人と交流した経験。とくにコミュニケーション能力は、お客様対応の場で大いに生かされています。

吉永 航大さん 建築学科 2018年3月卒業

藤本社建築設計事務所

“考え続ける力”を鍛えることが大切



沖縄県石垣島の高級ヴィラ「NOT A HOTEL ISHIGAKI」という物件を担当。基本計画段階から実施設計までに関わり、アイデアが形になるまでの創意工夫とその試行錯誤、形を建築にするまで地道に積み上げていく趣向と苦心を味わいました。在学中に養った、“悩む暇もないほど考え続ける”ことに耐える力が、間違いなく役立っていると感じています。

渡辺 拓海さん 建築学科 2019年3月卒業 大学院 総合理工学研究科 建築デザイン専攻 2022年3月修了

株式会社大林組

ACADEMIC THEATERの建設に従事



工事現場監督一筋、30年以上。アカデミックシアター建設にも携わり、毎日1000人への作業員の安全・品質・工程管理を担当。東大阪キャンパスに再び立つ感慨もひとしおで、後輩のために良い校舎を作りたい一心で取り組みました。在学中、構造力学や施工など基本を学べたほか、協働力や人前で説明する力を磨けたのも役立っています。

濱畑 隆男さん 理工学部建築学科 1989年卒業(建築学部の前身)

株式会社市浦ハウジング&プランニング

最期までその人らしく暮らせるまちに



卒論・修論では、自宅に近い環境でその人らしく暮らすことを支える「ホームホスピス」に着目、研究を通して出会った介護・看護職の方々から学んだことは、そこで生活を営む人の背景や想いを汲み取ることの大切さ。このような姿勢は、現在担当しているまちづくりや住宅施策の方針を検討する上でも非常に大切なことと感じています。

郡 千夏さん 建築学科 2020年3月卒業 大学院 総合理工学研究科 環境系工学専攻 2022年3月修了

進路内定者座談会

先輩たちが歩むキャリアとは？
5名の学生に、進路選択の決め手となった理由や
在学中の取り組みで役立ったことなどを
語り合ってもらいました。

今の進路に進もうと思ったきっかけとは？

宮原 みんなの進路先と、その仕事や研究をしたいと思った理由を教えてください。

中分 大和ハウス工業で営業として働きます。昔から個性的な戸建て住宅を紹介するTV番組が好きで、住宅建築専攻へ。ハウスメーカーを中心に就活し、販売だけでなく、「プランニングから関われる営業」という点に惹かれて大和ハウス工業に決めました。

小山 国立大学法人・京都大学の建築技術職で内定をもらいました。大学施設の修繕や保存、新たな設計などを行います。公共施設に関わる府や市への就職も検討しましたが、自分自身も成長させてもらった大学という場で、学生の学びや生活を支えたいと考えました。

友竹 もともと地理の勉強や旅行が好きで、地図に残るようなまちなかの建物づくりに関わるのが夢でした。より大規模な建物づくりに関わりたいとスーパーゼネコンを志望し、なかでも市街地開発で大きなシェアを占める大成建設へ。施工管理職として働きます。

横山 大学院に進学し、高校生のときから夢中だった近代建築の研究を深めます。これからは古い建

物を生かす時代。近代建築の新しい活用やリノベーションについて研究・実践されている先生も多いここで、いまの時代に必要専門知識を深く学べると思いました。

近藤 ア・ファクトリーという空間デザインの会社にデザイナー職で入社します。海外ブランドショップの日本出店時の設計なども手がける会社で、3分の1は外国籍のスタッフ。高校で英語力を鍛えた私にとって、建築×英語に関わる仕事というのが決め手でした。

進路を定めるうえで役に立った学部での学び

宮原 就活や将来の道を定めるうえで役立った演習や研究について教えてください。

中分 戸建て住宅をまるまる設計する住宅実務設計演習での学びが就活で役立ちました。

宮原 選考で図面を引くような実技試験があったわけですね？

中分 はい！実務ベースの演習で鍛えたプランニング能力を実技で発揮できたと思います。

小山 公務員の技術試験で頻出する静定・不静定構造は、1年次から積み重ねてきた知識が染みついていました。3年次で学んだ「建築行政」や「建築施工」の知識も鮮明に頭に残っていました。構造力学や法律系の講義で学習を繰り返した建築系の知識は、全て役立っています。

友竹 私も建築材料や建て方を学ぶ「建築構造」は、今の仕事に直結する学びがありました。

宮原 友竹さんは、どんな経緯でゼネコンや施工管理の仕事に興味を持ったのですか？

友竹 もともと父が住宅の設計をしていて建築現場が身近だったのもありますが、大手のインターシップに複数社申し込み、施工管理の仕事に触れたのが大きなきっかけです。

近藤 私もインターンシップは仕事理解を深めるうえで欠かせないと思います。ゼネコンは想像していたより力仕事だなと感じましたし、設計事務所では「外観より内部の空間デザインに興味があるかも」と気づき、空間ディスプレイの仕事に進むきっかけをもらえました。

広がる建築のキャリア！近大独自の支援について

宮原 近大だからこそ感じたキャリアサポートはありますか？

小山 キャリアセンターの就職支援講座が豊富です。小論文の添削や面接の対策もあり、たとえば集団討論で面接官はどこを見ているか、進行役としてみんなに話を振ることの重要性など、公務員試験の突破に向けたアドバイスが大きい役に立ちました。

友竹 私もオンライン面接をチェックしてもらいましたが、「画面が暗い」「表情がわかりづらい」など、自分だけでは思い至らなかった指摘をもらえて、すぐ改善につなげられました。

横山 中央図書館のレファレンスデスクをおすすめします。私は近代建築に関わる仕事を目標としていましたが、頭に思い浮かんだ職業は公務員だけでした。それを相談すると、近代建築の専門書の著者を辿ってどんな経歴や所属の人が調べてくれ、道標ができたんです。

宮原 近代建築に関わるいろんなキャリアがあると知り、選択肢が広がったわけですね。

近藤 私は、キャリアセンターの対面やオンラインで卒業生と気軽に面談設定できる仕組みが良かったです。面接はどんな感じか、ポートフォリオで見ているポイントは？などいろいろ聞けました。

中分 話を聞けるOB・OGの多さは近大の強み。私もサークルにハウスメーカーや不動産会社に就職した先輩がいて、たくさん就活のアドバイスをもらいました。説明会だけでは知り得ない情報を詳細に聞いて安心ですし、働く姿が想像できて志望度もあがります！

横山 あと、ACADEMIC THEATERの「24時間自習室」や建築学部棟33号館1階の「デザイン・commons」は、設計課題や宅地建物取引士の資格勉強をするのにとっても重宝しました！

宮原 近大は文系から建築を学べる数少ない大学ですが、理数系の勉強はどうでしたか？

近藤 学習レベルに応じてクラス分けされるので、物理や数Ⅲにまったく触れずにきた私も初歩から学び直せました。文系だからと選択肢を狭めず、粘り強くがんばってほしいです。

将来の展望と、建築の世界をめざす高校生へのメッセージ

宮原 最後に、めざしたい将来像や建築学部を志す高校生へのアドバイスをお願いします。

横山 近代建築のために人生を尽くす気持ちです。それこそ法律から変えるような大きな動きにも関わり、従来の観点に縛られない、近代建築の幅広い活用法を模索したいです。

近藤 自分がデザインした店舗で、たくさんの人がショッピングを楽しむ姿を見るのが夢。またいずれは語学力を生かして世界を飛び回り、海外の店舗デザインに携わりたいです。

小山 漠然と「ものづくりが好き」で入学した私にとって、トライアスロン部と模型の課題を両立させるのは大変でした。ですがそれを上回る設計のおもしろさにも気づきました。ものづくりのなかで最も大きいスケール、長く形に残るやりがい、ぜひ感じてください。

中分 目標は、「あなただから任せたい」と思ってもらえる営業になること。私は、TVの特集番組やドラマで、戸建ての魅力に触れたのがハウスメーカー志望の入口でした。SNSからでも何でも「憧れの仕事」を持つと、目標に向かうモチベーションも上がりますよ。

友竹 国立競技場のような日本を代表する建物の建設に関わること、またいずれは地元の岡山大で、生活の変化をもたらす大規模案件に関わるのが夢です。建築の世界にも、設計や施工、営業…さらに他にもいろんな仕事があります。視野を狭めず、広い目で見てほしいです。

横山 同感です。建物を「つくる」ための学びだけでなく、建築史を学びたい人、生活や文化を学びたい人など、建築に関係する多彩な将来の道を見つけていける学部だと思います！

宮原 すばらしい視点です。いろんな経験を糧に羽ばたくみなさんの活躍を期待しています。

—ありがとうございました。



京都大学(公務員) 就業予定
小山 莉生さん
建築学科・建築工学専攻[4年]
大阪府立布施高校出身

大成建設株式会社 就業予定
友竹 蒼さん
建築学科・企画マネジメント専攻[4年]
岡山県立岡山一宮高校出身

聞き手
宮原 克昇 准教授
専門・ランドスケープアーキテクチャー

株式会社ア・ファクトリー 就業予定
近藤 羽菜さん
建築学科・建築デザイン専攻[4年]
奈良県・奈良市立一条高校出身

大和ハウス工業株式会社 就業予定
中分 凌也さん
建築学科・住宅建築専攻[4年]
大阪府・大阪学芸高校出身

近畿大学大学院 進学予定
横山 千花さん
建築学科・企画マネジメント専攻[4年]
愛知県・名古屋市長橋台高校出身

SPECIAL TALK

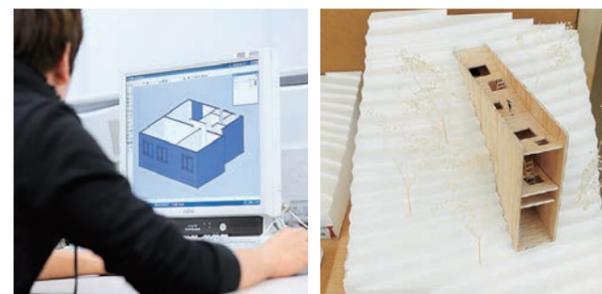
建築の基礎を身につけ、専門的な学びへステップアップ



建築学の基礎教育

建築学に必要な基礎知識を学ぶ

1年次から数多くの演習科目を通して、実践的な知識を身につけます。また、数学や物理などの教養科目も建築学につながる内容を重点的に学びます。



コースの選択

自分の適性を見定める

2年次から、建築工学専攻および建築デザイン専攻へ進む「建築工学・デザインコース」と、住宅建築専攻および企画マネジメント専攻へ進む「住宅・企画コース」の2つのコースに分かれます。

建築工学・デザインコース

住宅・企画コース

専攻の選択

自分の進みたい道を選ぶ

3年次から各専攻に分かれ、より専門的な教育を受けます。

- 建築工学専攻
- 建築デザイン専攻
- 住宅建築専攻
- 企画マネジメント専攻

研究室配属

専門的な研究・設計にみんなで取り組む

3年次後期から研究室に所属します。研究室ごとに違うテーマが用意されており、個人またはチームで課題に取り組めます。

卒業研究・設計

自分の好きなテーマに挑戦する

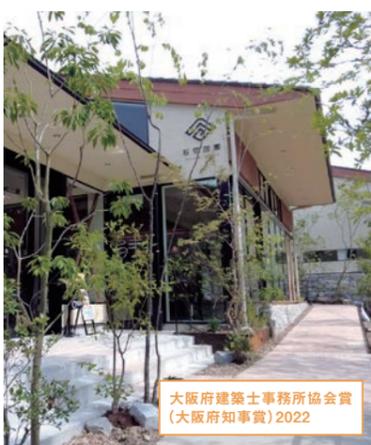
研究室に所属後は卒業研究・設計に取り組めます。問題を発見し、自分で解決する力やプレゼンテーション能力を身につける密度の濃い時間です。大学院に進学した先輩や教員との交流を深めながら、自分のテーマを探究していきます。



君の4年間をもっと深くおもしろく!

学び力
パワーアップ

まちの魅力を発信! 石切回廊



2022年7月、石切館前神社前にオープンした石切回廊

建築学部生が、企画・計画に関わった商業施設がオープン!

東大阪市の石切地区に、建築学部の学生が空き家の活用やまちづくりのさまざまな提案を通して、企画・計画に関わった商業施設「石切回廊」が2022年に完成しました。お百度参りで知られる石切劔箭神社の向かいに位置する「石切回廊」は、建物の中と外を回遊できる「回廊」や、誰もがくつろぐことのできるフリースペースがあり、緑あふれる庭や木造のゆったりとした空間が特徴です。2022年度の大阪府建築士事務所協会賞(大阪府知事賞)も受賞しました。学生や教員は、施設の運営にも関わりながら、地域や商店街の方々とともに、商店街の活性化にも継続的に関わっています。



入口前のオープンスペース



イベントや催しを開催できる屋外スペースも 健康・食・癒やしをコンセプトとする地域活性化の拠点に 木造の開放的な空間 神社の名にある「劔」の焼き印が入ったつるぎ餅や天ぷらなども提供

国際建築ワークショップ



作品は花蓮文創園區で一般公開された



台湾の自然に触れるフィールドワークも

ワークショップ参加メンバー

近大生が台湾で、都市と自然の共存をテーマに映像制作!

「AA Visiting School 台湾『Urbanity from the Ocean: Invisible Cities』」は、都市と自然の関係をテーマに、台湾でのフィールドワークと映像制作を通じて学びを深める建築ワークショップです。2024年8月12日～25日に、建築学部生4名がこのワークショップに参加。台湾東海岸の宜蘭市や花蓮市などを訪れ、AAスクールの講師や文化人類学者、映像作家の指導を受けながら地域の歴史や暮らしを多面的に理解し、フィールドワークを通じて得た発見をもとに、都市と自然の共存をテーマにした3分間の映像作品を制作しました。作品は花蓮文創園區にて一般の来場者にも公開。建築的思考を映像表現で発展させる貴重な体験を得るとともに、台湾の自然と都市が織りなす風景に触れることで、建築デザインの新たな視点と表現方法を身につけ、国際的な視野を広げる機会にもなりました。

交換留学プログラム

異文化交流から得られる新しい視点

建築学部では、パリのラ・ヴィレット建築大学をはじめ海外協定大学との交換留学を実施。他国の建築のあり方に触れ、多様性を学びます。在学学生にとっても、海外からの留学生との共同研究やディスカッションは、新しい物事の見方、考え方を得られる貴重な機会です。

交換留学生インタビュー

日本の文化や地形、建築素材から生まれる建築空間を学べた

パリでは、都市計画を専門に学んでいます。自然災害に対する解決策に興味があり、日本の大都市建築のあり方を参考にしたいと留学を決意。ゼミでは木の建築に触れるミュージアムへ。建具や襖を用いた建築空間、住宅を知ることができ、日本の文化や建築素材、組み立て方の違いを学べ面白かったです。富士山に登り、自然と建築、まちの関係について知見を得られたのも収穫でした。

Anouk Albertelliさん
フランス パリ ラ・ヴィレット建築大学から留学

経営やマーケティングなど、多角的に建築を学ぶ機会が充実

マンガをはじめとする日本のカルチャーに興味があった私にとって、交換留学は日本への理解をさらに深めるチャンスでした。総合大学だからこそ、経営やマーケティングの講義も充実し、多角的に建築を学べます。茶室作りや、東京でパリとはまた違う大都市建築を目にできたのも良い経験でした。敷地の分析や模型製作など日本で学んだ手法を、設計の仕事に生かしていきたいです。

Simon Fassiさん
フランス パリ ラ・ヴィレット建築大学から留学

※現地的情勢等により変更または中止になる場合があります。

これまでの建築学の枠にとらわれない4つの進路

建築工学・デザインコース

住宅・企画コース

3年次から希望により各専攻を選択できます

01 建築工学専攻	建築物の安全性・快適性・機能性に関する幅広い技術と知識を持った人になる	1学年 募集人員 280人	将来の進路	目標とする資格・検定	P.15へ		
02 建築デザイン専攻	豊かな建築空間を実現するためのデザイン技術を身につけ、新しい発想とデザインを展開できる人になる		将来の進路	目標とする資格・検定		P.17へ	
03 住宅建築専攻	住宅と居住環境を総合的に再確認・再構成し、個々の人に適した住まいをつくれる人になる		将来の進路	目標とする資格・検定			P.19へ
04 企画マネジメント専攻	社会が求める新しい建築のあり方を学び、これからのストック型社会・成熟社会で活躍できる人になる		将来の進路	目標とする資格・検定			

*募集人員は2025年3月現在のものです。

君の4年間をもっと深くおもしろく!

学び力
パワーアップ

セルフビルドの茶室

サステナブルな素材を使った茶室製作に挑戦。
新たな素材の可能性を探る。

近畿大学建築学部では、毎年「茶室」をテーマに設計コンペティションが開催されています。茶室といってもお茶を点てる場ではなく、対話のための最小限空間を、自由な発想で設計してもらいます。毎年、選定されるサステナブルな素材を用いることを条件とし、これまで、「間伐材」、「再生段ボール」、「竹」、「紙管」、「葡萄蔓」、「ペットボトル」、「竹箒」を素材とした茶室が製作されてきました。第8回の昨年は「環境緑化」と「海洋プラスチック汚染」の2つの課題解決につながる「再生紙プランター」を素材に開催。完成した空間は、自然の洞窟のような迫力を持つものとなり、補強のために内部床に敷いた透明ポリカーボネイト板が、洞窟に溜まった水のような印象を与える効果をもたらしたのも、おもしろい発見でした。今後も、それぞれの素材の可能性を発見する試みが続けられています。なお、この一連のプロジェクトは、「素材との対話—セルフビルドの茶室から描く24の補助線」という本として纏められ、出版されています。

(写真/母倉知樹)



「再生紙プランターの茶室」洞窟的な空間



「間伐材の茶室」素材は大府府能勢町のヒノキ間伐材



「ペットボトルの茶室」積層されたペットボトル



「葡萄蔓の茶室」不思議な光と影の効果



「再生段ボールの茶室」反射光を生じた内部空間



「竹の茶室」直線の竹を組んだアーチ型の空間



「紙管の茶室」透過する光



作品は33号館1階で製作、展示される

建築新人戦2024

全国的な建築コンペティションで、近大から3人がトップ16、トップ100に選出!

大学や専門学校に所属する学生が取り組んだ設計課題作品を対象に実施されるコンペティション「建築新人戦」。近畿大学は、過去2度の最優秀新人賞および1度の優秀新人賞を受賞しています。2024年度は、全国1200近い応募の中から、前田 陽斗さんが16選、阿部 和歌さん、原田 成己さんが100選に選ばれました。



2024年度
建築新人戦16選

前田 陽斗さん
建築学科
建築デザイン専攻[3年]
大阪府・大阪青凌高校出身
作品名:矛盾を引き裂く



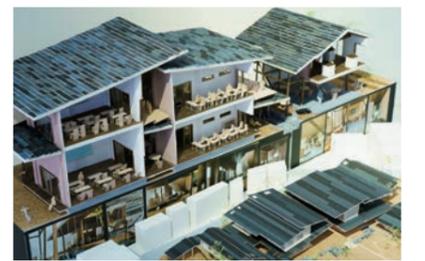
2024年度
建築新人戦100選

阿部 和歌さん
建築学科
建築デザイン専攻[3年]
大阪府立豊中高校出身
作品名:ここまで私の領域 どこまで



2024年度
建築新人戦100選

原田 成己さん
建築学科
建築デザイン専攻[3年]
京都府立南陽高校出身
作品名:境界に時間軸を



学生が中心になって運営する建築研究会

建築研究会では、月に1度、名建築の見学会を実施しています。また3泊4日の夏合宿では、普段見に行くことのできない遠方の建築物を訪問するほか、花火やBBQなどのイベントも。活動を通して、学年の枠を超えて交流を深めます。そのほか、学園祭や東大阪市の「市民ふれあい祭り」では毎年屋台を出店。屋台のデザインや施工を自分たちで行うのも、建築学部ならではの活動です。





安原 康太 さん 建築学科 建築工学専攻 [4年]
大阪府立高津高校出身

計画・構造・環境の3分野を包括的に学び、総合的な建築の能力を養う

建築には、美しく使いやすい建築を考える「計画」と、災害にも強く安全・安心な建築を考える「構造」、音・光・熱・空気の視点から快適性と持続性を考える「環境」の3つの分野があります。また、古代ローマ時代から建築に必要な要素は用・強・美の3つであると謳われています。欧米の建築教育は各分野が独立し、デザインを重視する傾向が強いのにに対して、日本の建築教育は、技術者教育と建築家教育を統合した独自の体系を持っており、国際的にも高く評価されています。建築工学専攻では、このような包括的な建築学教育に基づき、建築実務で活躍するより高いレベルの建築技術者および建築士の育成をめざします。

安原さんの時間割 (1年次)

時限	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
1	スケッチ表現	イングリッシュ・スキルズB1			
2		中国語総合1	イングリッシュ・スキルズA1	情報処理基礎	
3		英語演習1	ビジネスモデルとマネジメント	健康とスポーツの科学	
4	近代ゼミ1			物理学及び演習	基礎製図
5	建築概論		基礎数学		

目標とする
資格・検定

- 一級建築士
- 二級建築士
- 技術士・技術士補
- 建築施工管理技士 (1級・2級)
- 建築設備士 など

カリキュラム

3つの分野を包括的に学び、総合的な建築の能力を養います

建築工学専攻では、計画・構造・環境という3つの分野を包括的に学習します。本学部の前身である理工学部建築学科から引き継がれてきた建築学教育に基づき、建築実務で活躍するより高いレベルの建築技術者および建築士を育成する講義を展開します。

※カリキュラムは2025年度のもので、2026年度は変更になる場合があります。

	1年次	2年次	3年次	4年次	
必修科目	基礎製図 3D-CAD演習 建築基礎演習 建築設計概論 建築構法 静定構造力学1	環境工学概論 建築概論 物理学及び演習 基礎数学 情報処理基礎	設計演習I 設計演習II 建築設計論 住宅計画 建築計画総論 アーバンデザイン	建築材料 近代建築史 静定構造力学2 不静定構造力学 音・光環境 熱・空気環境	建築総合演習 卒業研究・設計
選択科目	スケッチ表現 静定構造力学演習1 数学概論 情報処理実習1	2D-CAD演習 静定構造力学演習2 不静定構造力学演習 情報処理実習2	設計演習IV 日本建築史 西洋建築史 木質構造 建築地盤・基礎構造 コンクリート構造演習	建築再生論 環境設備計画	

PICK UP! 1

設計演習III

設計を通して
建物の機能とデザインを学ぶ

設計演習IIIでは社会的背景を踏まえた上で学校、福祉施設などの公共施設の設計に取り組みます。

PICK UP! 2

耐震耐風工学

地震や台風に対して
安全な建築物を学ぶ

地震力風圧力と免震制振などの耐震耐風構造の考え方、工法、設計法などの基本を習得します。

PICK UP! 3

建築環境実験

実空間の快適性や省エネルギー性
などを測定・実験する

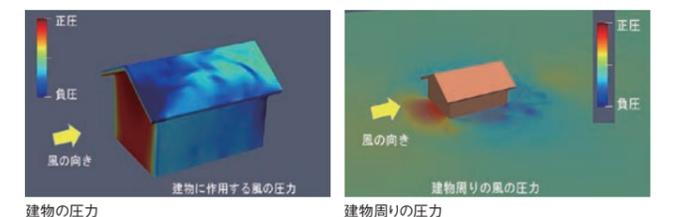
建築空間の快適性に関係の深い、音・光・熱・空気などの室内環境と、省エネルギー性などに関する測定・実験を少人数グループで実際に行います。

卒業研究紹介

コンピューターシミュレーションを用いて 建物に作用する風圧力をわかりやすく

亀井 宏和 さん 2022年3月卒業

強風時の建物に作用する風圧力を、コンピューターシミュレーションで研究しています。風上側の壁面は正圧(押す力)が作用し、屋根面では負圧(引く力)が作用します。コンピューターシミュレーションを使うと建物に作用する風圧力が色で表すことができ、台風時の建物に作用する力が詳しくわかります。



在学生インタビュー

物はどんな風に支えられているか 構造や材料を紐解くおもしろさ



萩野 彩花 さん
建築学科 建築工学専攻 [4年]
兵庫県立夢野台高校出身

入学時に興味を持ったのは意匠設計でしたが、学ぶうちに建物への着眼点が変わり、構造や建築材料についてもっと知りたくなりました。今では広い無柱空間を見かけると「何で支えられているのかな?」と考え始めるほどです。構造分野は専門性が高く、独学で学ぶのは難しいため就職先でも重宝されます。在学中にさらに知見を深め、専門的な分野で活躍したいです。

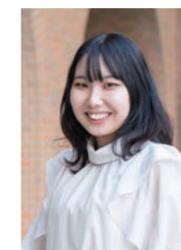
構造の計算をするだけじゃない! “なぜこの構造か”考えるのが楽しい



高山 翔馬 さん
建築学科 建築工学専攻 [4年]
大阪府立枚方高校出身

どんな意図があってこの内部構造か、なぜこの建材や部材なのか? 計画や土地に応じた建築工法を実例に沿って学ぶ「建築計画総論」「建築設備概論」が好きです。土地によって構造の向き不向きがあり、それにより建築計画も左右されるほど構造と計画は密接につながっています。構造の計算ばかりでなく、“なぜそうになっているか”の理屈を学べるのが建築工学のおもしろさです。

コンクリートをつくって壊して… 構造のことを深く知る実験が楽しい



森田 莉彩 さん
建築学科 建築工学専攻 [4年]
大阪府・近畿大学附属高校出身

建築物のデザインにも大きく関わる「構造」を知るため、本専攻へ。おもしろかったのが、コンクリートを打設して破壊し、ヒビの入り方から材質や強度を解析する実験。コンクリートも配合から行うため、硬さ調整に苦戦するヒトコマもあり楽しい演習でした。今はコンクリート構造のゼミに所属していて、いずれは建築材料系の研究職に就くことも視野に入れています。



稲川 沙弥香 さん 建築学科 建築デザイン専攻 [4年]
兵庫県立姫路南高校出身

芸術と技術の融合によって、地域とつながる新しい社会に求められる建築をデザインする

建築は生活文化やコミュニケーション、社会のシステムや地域と深くかかわっています。そのことを理解して、新しい建築のデザインを探究していく。これが建築デザイン専攻で学ぶことの中核です。具体的には、歴史を踏まえた幅広い教養と専門知識の修得に加え、自らの感覚と身近な空間を拡張し、人々の都市や社会に対する要望を満たす、新しい建築を構想すること。さらには、縮減していく都市における地域のコミュニケーションの考察。歴史的な背景を理解し過去と未来の建築をつなぐ思想を身につけることなどです。質の高いデザインとは何かを追い求め、新しい発想と確かな知識で、次世代の建築デザインについて考えていきます。

稲川さんの時間割 (1年次)

時限	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
1	スケッチ表現	イングリッシュ・スキルズB1			
2		フランス語総合1	イングリッシュ・スキルズA1	情報処理基礎	近大ゼミ1
3			国際文化と異文化理解	教養特殊講義A	
4		英語演習1	基礎数学	物理学及び演習	基礎製図
5	建築概論				

目標とする
資格・検定

- 一級建築士
- 二級建築士
- 木造建築士
- インテリアコーディネーター
- インテリアプランナー など

カリキュラム

スタジオ教育による実践的な設計技術を学び、建築士をめざします

建築デザイン専攻では、歴史を踏まえた幅広い教養と専門技術に関する知識を修得することで、次世代の建築デザインを担う建築士を育成。新しい発想とデザインが展開できる設計者教育をめざします。

※カリキュラムは2025年度のもので、2026年度は変更になる場合があります。

	1年次	2年次	3年次	4年次	
必修科目	基礎製図 3D-CAD演習 建築基礎演習 建築設計概論 建築構法 静定構造力学1	環境工学概論 建築概論 物理学及び演習 基礎数学 情報処理基礎	設計演習I 設計演習II 建築設計論 住宅計画 建築計画総論 アーバンデザイン	建築材料 近代建築史 静定構造力学2 不静定構造力学 音・光環境 熱・空気環境	建築総合演習 卒業研究・設計
選択科目	スケッチ表現 静定構造力学演習1 数学概論 情報処理実習1	2D-CAD演習 静定構造力学演習2 不静定構造力学演習 情報処理実習2	設計演習IV 建築デザイン演習I 建築デザイン演習II インテリアデザイン論 ランドスケープデザイン論 建築プロジェクトデザイン論 建築計画各論	建築デザイン論 建築設備概論 鋼構造 建築設備概論 セミナー演習	スタジオ設計II 環境設備計画

PICK UP! 1

スタジオ設計I

スタジオ設計を対象とした自由度の高い課題に取り組む

建築家として必要な企画構想力、そしてそれを表現するデザイン力とプレゼンテーション力を身につけるため、都市・建築・環境にかかわる課題に取り組めます。

PICK UP! 2

建築デザイン論

建築デザインの考え方や基礎知識を学ぶ

歴史的な背景や実例を踏まえながら、建築デザインの考え方を解説。また建築の技術、社会・文化的様相などの視点から、建築デザインの基礎知識を学びます。

PICK UP! 3

建築デザイン演習I

コンピュータによる建築デザインの表現技法を修得

さまざまな先進的な事例の紹介とともに、高度な3D-CADソフトを用いて、コンピュータによる建築デザインの表現技法を修得。新しい空間を創造する力を養います。

卒業研究紹介

心のみちくさ～過疎化集落を心の療養の場として再編するグリーンリノベーション計画～

野瀬 ひかり さん 2021年3月卒業

集落の過疎化と精神科病院の閉鎖的空間という2つの問題提起に対し、園芸療法に着目し、園芸学校で学んだ園芸療法士や精神科病院、地域住民を巻き込みながらランドスケープと建築の操作によって豊かな集落を創ろうとする提案です。既存の敷地や自然を読み解き、それぞれの場の特性を活かし竹林エリア、棚田畑エリア、住宅園芸エリアといった空間が設計されています。



在学生インタビュー

建築家でもある先生の指導に仲間との議論…発見に満ちた毎日



本野 優奈 さん
建築学科 建築デザイン専攻 [3年]
大阪府立大手前高校出身

現役建築家として活躍される先生たちに、数週間かけてエスキス・講評していただける「設計演習」は学びの宝庫。先生との距離も近くダイレクトにその思考法を吸収できます。また講評する熱量が高い仲間が多く、たくさん議論を交わせるのも魅力。この専攻だからこその得られた幅広い知識や多様な価値観によって、ものごとを多角的にとらえ、分析する力がつきました。

正解がないからこそ、自分らしい考えをぶつけられるおもしろさ



南出 悠志 さん
建築学科 建築デザイン専攻 [4年]
兵庫県立西宮北高校出身

自分の考えを反映できる図工や美術が好きだった私。個性のあるモノ・コトを生み出したくてこの専攻を選びました。楽しかったのが「設計演習」。社会的な背景や用途を踏まえ、0から100まで建物の構想を練っていきます。明確な答えがないなか、自分らしい空間表現や言葉でアプローチできるのがおもしろいところ。いつか自邸をつくるタイミングにも、ここでの学びが生きてくると思います。

建物の設計だけが建築ではないと学べた建築プロジェクトデザイン論



淡野 佳那 さん
建築学科 建築デザイン専攻 [4年]
大阪府立大阪夕陽園高校出身

学校やホテルなど公共施設の設計に興味があり本専攻へ。学びが多かったのが「建築プロジェクトデザイン論」。外部ゲストの講演も刺激的で、何より、建物の設計だけではなく、地域や人、コミュニティをデザインすることも建築だと気づけました。中学校と連携したワークショップなど実践のチャンスも多数！経験を糧に、世界中の人が体験できる空間・イベントをつくるのが夢です。



小濱 裕輝 さん 建築学科 住宅建築専攻 [3年]
大阪府・関西大倉高校出身

人を想い、住宅をトータルに考える力を育む

住宅の設計は、人々の生活に密着するがゆえに、より深く、より広い知識が必要となります。住宅建築専攻では、デザインや工学的技術だけでなく、家族のあり方や人と人とのコミュニケーション方法など、社会学・心理学的側面についても学び、変化する時代に対応した住まいのあり方について考えていきます。そのうえで、建築物としての造形デザインやインテリアデザイン、またはユニバーサルデザインなどについて学び、地震や風雪にも耐えうる構造技術と、室内環境を快適にコントロールする環境・設備技術などについて学習。住宅と居住環境のあり方を総合的に再確認・再構成し、個々の人に適した住まいをつくる能力の習得をめざします。

小濱さんの時間割 (1年次)

時限	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
1	スケッチ表現	イングリッシュ・スキルズB1			
2		韓国語総合1	イングリッシュ・スキルズA1	情報処理基礎	
3		英語演習1	国際文化と異文化理解	健康とスポーツの科学	
4	近大ゼミ1		基礎数学	物理学及び演習	基礎製図
5	建築概論				

目標とする
資格・検定

- 一級建築士 ■ 二級建築士 ■ 木造建築士 ■ インテリアコーディネーター ■ 福祉住環境コーディネーター (1~3級) など

カリキュラム

社会構造と密接につながる「住宅」を理解し、専門知識を身につけます

住宅建築専攻では、私たちが生活する上で欠かせない住宅の意味と価値を再確認・再構成し、住宅を中心に社会のあり方について学び、個々の人に適した住まい、これからの新しい社会や生活をつくっていく住宅の専門家を育成します。

※カリキュラムは2025年度のもので、2026年度は変更になる場合があります。

	1年次	2年次	3年次	4年次			
必修科目	基礎製図 3D-CAD演習 建築基礎演習 建築設計概論 建築構法 静定構造力学1	環境工学概論 建築概論 物理学及び演習 基礎数学 情報処理基礎	設計演習I 設計演習II 住宅計画 建築計画総論 現代ハウジング PICK UP! 1 企画マネジメント総論	アーバンデザイン 建築史概論 建築材料 構造概論 PICK UP! 1	福祉住居論 居住管理論 住宅都市計画演習 建築施工 建築行政 住宅実務設計演習 PICK UP! 2	住宅構造学 PICK UP! 3 建築設備概論 住宅設備 ゼミナール演習	建築総合演習 卒業研究・設計
選択科目	スケッチ表現 静定構造力学演習1 数学概論 情報処理実習1	2D-CAD演習 建築設計論 近代建築史 構造力学演習 音・光環境 熱・空気環境	情報処理実習2 建築デザイン論 インテリアデザイン論 ランドスケープデザイン論 住文化論 現代都市計画 住宅環境性能論 環境都市・建築論	建築デザイン論 インテリアデザイン論 ランドスケープデザイン論 住文化論 現代都市計画 住宅環境性能論 環境都市・建築論	土地建物調査法 建築再生論		

PICK UP! 1

現代ハウジング

住宅計画に関する幅広い領域を理解する

我が国の住宅事情の現状、その歴史の変遷、住宅生産供給システム、住宅政策など、住宅計画に関する広範囲の領域を対象に、それぞれの解説を行います。

PICK UP! 2

住宅実務設計演習

小規模な住宅のプランニングから構造設計までを体験

住宅のプランニング、構造設計・設備設計を行う演習科目です。住宅づくりの実務を一通り経験する、大学の建築教育では非常に珍しい授業です。

PICK UP! 3

住宅構造学

木造住宅の性質や、各種工法の基礎を学ぶ

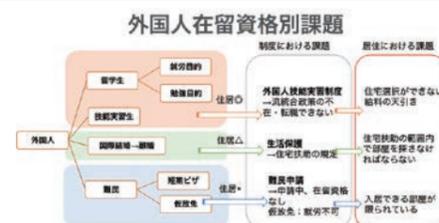
我が国独特の木造住宅について、木材の性質からはじまり、戸建て住宅の軸組工法、枠組壁工法、工業化住宅など、各種工法の基礎について学びます。

卒業研究紹介

在留外国人の居住支援における課題を調査

佐藤 ひな子 さん 2021年3月卒業

現在、全国で住まいの確保が困難な方を支援する団体として、居住支援法人の立ち上げが推奨されていますが、いまだ具体的な成果につながっていないと言われてます。とくに支援が届きにくい在留外国人については、言語や保証人不在などの理由から入居を断られる課題が生じています。そこで本研究では、外国人支援団体に居住支援法人体制や支援の仕組みについて調査。制度と居住支援のミスマッチなどの課題を把握するとともに、各関係主体の連携のあり方について整理しました。



在学生インタビュー

時代や暮らし方、住む人で変わる家学べば学ぼうど奥深くても面白い!



平野 菜美 さん 建築学科 住宅建築専攻 [4年]
兵庫県・賢明女子学院高校出身

「住宅実務設計演習」は1番好きな演習です。「リビングを開放的に見せるコツは?」「玄関にベンチを設けると靴の着脱がラク」など、細かな設計手法や工夫を知れてワクワクします。また、図面のトレース練習を繰り返すことで、木や車の描き方、色の塗り方、家具のスケール感などを掴めるようになり、作図技術もぐんとアップ! 努力が実るところも設計の楽しさです。

目標はハウスメーカーの設計職! 住宅設計を深く学べる演習が助けに



青木 裕一朗 さん 建築学科 住宅建築専攻 [4年]
大阪府立北千里高校出身

ハウスメーカーの設計職をめざし、住宅に特化して学べる本専攻へ。快適な空間を生む設計上の工夫などを学べるほか、住宅設計の課題を数多くこなせるため将来に直結する力がつきます。「住宅都市計画演習」では学外に出て地域や建築物を調査するフィールドワークがあり、座学にはない気づきがたくさん。発想豊かなアイデアが飛び交うグループ設計も刺激的でした。

住宅にフォーカスして学べる専攻 日常を豊かに過ごせるヒントあり!



小山 莉歩 さん 建築学科 住宅建築専攻 [3年]
大阪府・清教学園高校出身

生活に身近な「住宅」という分野にさまざまな学問があると知り、もっと詳しく学びたいと本専攻を選びました。好きな講義は「住宅設備」。バスやキッチン、照明など、日常で利用する設備について知識を増やすことができ、より豊かで快適な生活空間をつくるための知見を広められてためになります。学びを生かし、人が生活する空間をデザインする設計士になりたいです。



藤後 陽菜乃 さん 建築学科 企画マネジメント専攻 [4年]
滋賀県立石山高校出身

つくる建築から守り育てる建築へ。これからの建築のあり方を考える

企画マネジメント専攻では、「つくる建築から守り育てる建築へ」と転換を図る新しい建築のあり方を学びます。何をつくるかだけでなく、現実の社会経済面から見た実現可能性や、社会や人々とともにどうやって建築をつくるか、建築をどのように守り育てていくかを考察し、その考えを身につけていきます。また、ストック社会・成熟社会における建築のあり方を探究するため、計画・設計の前段階である建築企画、建築竣工後の維持・管理・経営分野に関する専門知識も学習。今後ますます多様化していく建築産業や不動産業にも対応し、建築業の枠を超えて住宅・建築・都市にかかわるさまざまな業態に対応できる能力を修得します。

藤後さんの時間割 (1年次)

時間	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
1		生涯スポーツ1	オーラルイングリッシュ1		
2	人権と社会1	英語演習1	フランス語総合1		
3		近大ゼミ			社会統計学A
4				情報処理	
5			国際政治学概論		

目標とする
資格・検定

- 一級建築士 ■ 二級建築士 ■ 木造建築士 ■ 宅地建物取引士 ■ 不動産鑑定士 など

カリキュラム

実践的な講義・演習を通して、社会が求める新しい建築のあり方を学びます

企画マネジメント専攻では、建築企画、建築マネジメント、都市計画の分野の内容を中心に、今後多様化していく建築産業や不動産業にも対応した実践的な知識・技術を学びます。ストック社会・成熟社会の中で建築の専門知識を武器に、多方面で活躍できる人材を育成します。

※カリキュラムは2025年度のもので、2026年度は変更になる場合があります。

	1年次	2年次	3年次	4年次		
必修科目	基礎製図 3D-CAD演習 建築基礎演習 建築設計概論 建築構法 静定構造力学1	環境工学概論 建築概論 物理学及び演習 基礎数学 情報処理基礎	設計演習I 設計演習II 住宅計画 建築計画総論 現代ハウジング 企画マネジメント総論	アーバンデザイン 建築史概論 建築材料 構造概論	居住管理論 建築生産論 建築マネジメントI 建築企画演習I PICK UP! 1 建築企画演習II PICK UP! 1 現代都市計画 まちづくり論 PICK UP! 2	建築総論 建築設備概論 ゼミナール演習 建築総合演習 卒業研究・設計
選択科目	スケッチ表現 静定構造力学演習1 数学概論 情報処理実習1	2D-CAD演習 建築設計論 近代建築史 構造力学演習 音・光環境 熱・空気環境	情報処理実習2	建築デザイン論 建築計画各論 保存修繕計画 構造力学演習 住宅構造学 環境都市・建築論	建築マネジメントII 土地建物調査法 建築再生論 PICK UP! 3	

PICK UP! 1

建築企画演習I・II

提案とディスカッションを繰り返しながら建築企画を学ぶ

実際のプロジェクトやフィールドの学外体験や企画提案の演習を通して、教員と学生とがディスカッションを行いながら建築企画を学びます。

PICK UP! 2

まちづくり論

地域の課題を読み解き、まちづくりの解決策を学ぶ

地域の活性化、まちの再生、居住環境の改善など、実際のまちづくり事例をもとに、歴史・景観・福祉・自然・交通などさまざまな視点からまちづくりを学びます。

PICK UP! 3

建築再生論

建築を使い続けるために実践的な建築再生の手法を学ぶ

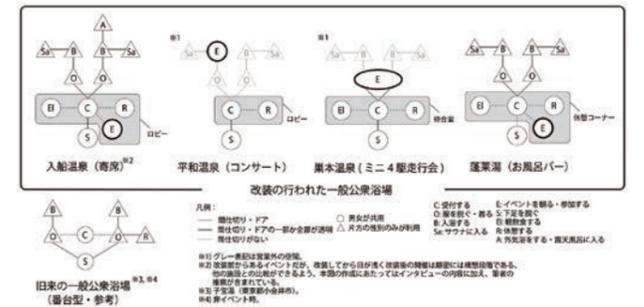
不動産の視点、法規の視点を交えながら、商業施設やオフィス、戸建て住宅や集合住宅のリノベーション・コンバージョンといった建築の再生手法について学びます。

卒業研究紹介

銭湯のリノベーションによって生まれる、新しいコミュニティの拠点

大須賀 拳木 さん 2023年3月卒業

ほぼ全ての住宅に風呂がいきわたった結果、まちの銭湯が激減しています。しかし、銭湯をリノベーションして、飲食やパーティーが行えるようにしたり、脱衣場がミニ四駆のサーキットに変身するという型破りな施設形態で客足を呼び戻すことに成功している事例が近年誕生しており、「銭湯に生き残ってほしい!」という思いでそうした事例の調査を行いました。



在学生インタビュー

大好きな古い建物を守り、活用する リノベーション手法を学びたい



山内 千花 さん

建築学科 企画マネジメント専攻 [4年]
愛知県・名古屋市長台高校出身

近代建築などの古い建物が好きで、建物を守るためのリノベーション手法を学びたかった私。本専攻は、実際の建築事例に沿って企画や予算を組むなど、実践的に学べる演習の豊富さが魅力です。数多くのリノベーション事例に触れ、ただ美しく維持するだけでなく、現代風にアレンジするなど手を加えることで生きる建築もあるとわかり、保存の考え方も広がりました。

まちや住む人の特性、収支を踏まえ リノベーション案を考える楽しさ



小田 純平 さん

建築学科 企画マネジメント専攻 [4年]
大阪府・近畿大学附属高校出身

空き家のリノベーションを通してまちづくりに興味があり本専攻へ。実在する空き家を対象に、周辺地域を調査して、まちの特性やどんな人がいるのか、収支計画はどうするかを考え、リノベーション案を企画する演習がおもしろかったです。卒業後はリフォーム業界へ。広い視野を持ってお客さまの望みを引きだし、理想のリノベーションを叶えられる人材をめざします。

建物の活用案を外部発表する機会が プレゼンテーション力が高まった



白田 栄央 さん

建築学科 企画マネジメント専攻 [3年]
兵庫県・親和女子高校出身

ただ建築物を設計するだけでなく、地域やまちでその建物をどう活用し、社会的な価値を見出していかを養えます。自分なりに考えた建物の活用案をオーナーさんや東大阪市の方に発表する機会もあり、関心や高い評価をもらえたときはうれしかったです。どうすればわかりやすく伝わるか工夫するなかでプレゼンテーション能力も高まり、就職活動にも役立っています。

近畿大学の建築学部には、業界をリードする
精鋭の研究者が集結。最先端の研究を担う
プロのマインドに触れる、刺激的な毎日が待っています。

建築界の最前線を担う教員たち

【設計系】
建築・都市デザイン
松岡 聡 教授

【構造系】
免震構造
犬伏 徹志 准教授

【計画系】
建築歴史・意匠
奥富 利幸 教授

【環境・材料系】
建築・都市環境材料
菅原 彬子 講師

生活空間の新しいデザインを追求
作品実績豊富な現役建築家

著名な建築家である松岡教授の専門は、働き方や学び方が変わる現代の都市空間における住まいやオフィス空間の研究。校外や田舎、都心部それぞれの生活空間を再編し、人間と人間、人間と空間をつなぐデザインのプロトタイプを模索しています。共同設計した埼玉の住宅作品「コート・ハウス」は、2019年住宅建築賞・JIA優秀建築賞、2020年グッドデザイン賞、狭小地に新築された「裏庭の家」では2018年日本建築学会作品選奨を受賞。豊富な建築実績に加え、2014年日本建築学会教育賞を受賞した著書「サイト 建築の配置図集」(学芸出版社)など、建築教育の発展にも寄与しています。

設計想定を超えた大地震がもたらす
免震建物の未解明な事象を研究

設計想定内の地震動に非常に高い耐震性能を発揮する免震構造。災害拠点になる建物や、財産保護の観点において集合住宅にも多く適用されてきました。しかし一方で、免震建物棟数はまだ少なく、その普及が重要な課題です。さらに、「設計想定を超える極めて大きな地震動」に対して、免震建物がどのような挙動を示すのか?未解明な事象も多く残されています。こうした重要課題の解決に向けて研究に取り組むのが犬伏准教授です。精度の高い衝突衝突解析モデルの適用性を検証した研究は、2019年日本建築学会奨励賞を受賞。新規性や実用性の高さが評価され、実務設計に生かされることが期待されています。

探求心を持って本物に触れば、
建築の本当の魅力に気づける

伝統演劇空間の近代化が研究テーマの奥富教授。前田齊泰郎の「旧染井能舞台」(横浜市文化財)を移築し、現代建築と融合させた「横浜能楽堂」の設計で、第8回公共建築賞優秀賞を受賞。現在も文化財復元の専門家として活躍。博士論文を著書『近代国家と能楽堂』(大学教育出版)で刊行。そんな奥富教授が重視するのは、現場に立つこと。文献や資料が少ない伝統建築は、実物に触れることが非常に大切であり、実物を通して設計理念や時代背景、建物に込められた思いが理解できると言います。現場で情報を得る課題を見つける力は、現代建築の設計にも欠かせないものです。

いずれは宇宙建築にも貢献?
音を自在に操る吸音材を研究開発

菅原講師が取り組むのは、音を自在に操る新素材の研究です。たとえば、生活音そのままに、話し声や外部の音だけを吸収する素材。制御したい音に応じて、自由に設計できるようにすることが狙いです。材料になるのが「メタマテリアル」。素材の微細構造をコンピュータ上でシミュレーションし、3Dプリンターで造形していきます。任意で選んだ音の波長が起こす挙動を制御することで、用途に応じた音響特性を生み出せる新しい技術です。将来、宇宙で作る建造物は、3Dプリンターの活用が見込まれています。「この新材料で宇宙開発に貢献できたら」と意気込みます。

コンクリート構造・材料研究室



今後ますます需要が高まる
コンクリート
構造物の耐震性・
耐久性を追究

岸本 一蔵 教授

コンクリート構造物の耐震性・耐久性についての研究を行っています。高強度材料を用いた部材の耐震性能評価や、コンクリートの弱点を補う構造(プレレストコンクリート構造)の研究、その他、コンクリート内の鉄筋が腐食した場合に部材性能がどのように変わるかなども研究しています。

▶曲げせん断実験の様子



建築数理研究室



地震や風に対する建物の
安全性の確保と最適化

岩田 範生 教授

地震や風に対して建物が揺れなくなるための工夫を考えると同時に、強さと美しさを兼ね備えた構造部材の配置方法などを実験と解析の両面から研究しています。

▶建築振動模型の実験風景



耐風構造研究室

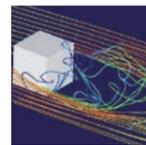


風が建物に与える
影響を研究

野田 博 教授

当研究室では、台風や竜巻などの自然現象がどのような性質なのかを、気象観測データを手がかりに明らかにしていきます。また、コンピュータシミュレーションを駆使して、目に見えない風を「見える化」し、強風によりどのような力が建物に作用するのかを研究しています。

▶コンピュータシミュレーションによる建物背後の流れの様子



建築・都市デザイン研究室



建築と都市における
さまざまな物事を読みとり
実践に結びつける

松岡 聡 教授

デザイン・解析の両面から建築と都市の研究に取り組みます。都市構造、都市のコミュニケーションデザイン、都市とアートなどの研究を行うとともに、人間の活動が集積する都市におけるさまざまな物事を読みとり、建築・環境デザインの実践に結びつけることをめざします。

▶都市の新しい公共空間のリサーチに基づいて、ストリートファニチャーなどの配置を検討



居住福祉研究室



高齢社会における
住まいのあり方

山口 健太郎 教授

気の合った仲間と老後を楽しくしたい。介護を受けながらも自分なりの生活を維持したい。高齢期におけるさまざまなニーズに対応した住まいのあり方について研究しています。

▶空き家を高齢者の施設に改修。利用者の視点から使いやすく、居心地の良い環境をめざす



建築・都市再生デザイン研究室



建築や都市の再生に
必要とされる事業企画や
空間デザインを探索

宮部 浩幸 教授

建築や都市の再生における建築や不動産の企画および空間デザインに関する研究を行っています。最近では空家や市街地空洞化などの社会問題が懸案ですが、遊休不動産となった既存ストックのリノベーションは問題解決の重要な手法といえます。

▶築古の木造住宅を賃貸向けに再生した事例(1930の家)。不動産企画と空間デザインの創造力が求められる



建築物理学研究室



持続可能な建築・
都市環境の
創造をめざして

安福 勝 教授

熱・空気・湿気環境に関する研究を行っています。とくに、自然環境と建築・都市環境の相互作用とその定量化手法、および材料の熱・湿気物性に関する研究を行うことで、先進的な環境予測・制御・最適化手法の開発・提案をめざしています。

▶最新のデジタルマイクロスコープを用いて建築材料の劣化状態などを3次元観測する様子



耐震構造研究室



地震に強い建物とは!

松宮 智央 教授

日本は世界でも有数の地震大国であり、国民が安心して暮らせる建築物とは何かを命題に、建物の地震に対する安全性について研究しています。

▶鋼構造骨組に対する地震応答解析シミュレーション



空間デザイン研究室



建築空間のおもしろさを
追求する

竹口 健太郎 教授

建築空間は時に人を深く感動させます。建築の力がいつ、どのように人の意識に深く作用するのかを考察し、それを実現するためにどのように設計すれば良いのかを探索します。設計理論、建築作品、その工法(構法)についてリサーチします。

▶設計作品である高野山ゲストハウス。礼拝堂のようなカプセルホテル



建築環境システム研究室



建築の環境負荷
低減を目的に
建築内外の諸環境を
研究しています

岩前 篤 教授

限りある資源とエネルギーの節約と、人の健康性・快適性の追求を目的にさまざまな調査や実験、シミュレーション手法を用いて、建築物の省エネルギー性、耐久性、健康性などを評価し、実際に社会で役立つ情報と技術をつくっています。

▶野外調査、数値シミュレーション、実験室実験などで収集したデータをもとに、研究室で整理・分析、文章作成を実施



空間理論研究室



日本近代建築史、
とくに伝統演劇空間の
近代化を研究

奥富 利幸 教授

近代建築の成立過程を解明することをテーマにしています。とくに、伝統芸能である能楽が演じられ、入れ子と呼ばれる能舞台を室内に納めた独自の空間を構成し、世界的にも稀な劇場空間である能楽堂は、主要な研究テーマです。

▶横浜能楽堂の設計、旧染井能舞台の復元を経て、伝統演劇空間の近代化の研究が進行



都市計画研究室



地域再生、景観整備、
都市計画。
市民参加の
まちづくりを実践

脇田 祥尚 教授

日本と海外をフィールドに、景観・減災・こども・コミュニティ形成などの観点からまちづくりを研究。実際に行政からの依頼でプロジェクトを実施することもあります。地域の方々や意見を共有することを大切にしながら、具体的なまちづくりの実践方法を探索しています。

▶東大阪市で、住民・学生・教員でまちの魅力や課題を話し合い、より良いまちづくりには何をすべきかを提案する



設計・デザイン論研究室



デザインを考察し、
実践する

垣田 博之 教授

建築のかたちには理由があります。設計者は素材や構造の知識、与条件の読み取りをもとに、ことばや図でコンセプトを組み立て、設計の指針としたり、作品を説明したりします。設計の実践と並行して、その原動力となるそれらの理論を考察しています。

▶建築学部1階ギャラリーでの模型展示



建築・都市 commons 研究室



建築の価値を
社会で共有して
都市に生かす

高岡 伸一 教授

大阪を主なフィールドに、近現代建築史と建築ストックの改修設計、そこから導かれる建築の価値を社会で共有するための方法論を総合的に研究することで、「生きた建築」による都市 commons 学を探索しています。

▶日本最大の建築一宮公開イベント「生きた建築ミュージアムフェスティバル大阪」の実施



建築環境設備研究室

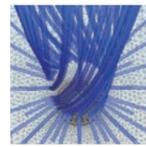


建物のエネルギー消費を
抑えつつ、快適に過ごせる
環境設備システムを研究

長澤 康弘 教授

最小限のエネルギー消費で、建物内に居住する人々が健康で快適に暮らすための室内環境を実現する環境設備システムの計画・解析・評価をテーマに研究を行っています。レストランなどの調理作業空間を対象に、快適で衛生的な作業空間の実現をめざします。

▶コンピュータシミュレーションによる吹出口周辺の空気の流れ



※教員組織は2025年度のもので、2026年度は変更になる場合があります。

プロジェクトデザイン研究室

建築をコミュニケーションとしてとらえて、新しいデザイン教育、メディアのあり方を追求



堀口 徹 教授

建築を、新しいコミュニケーションのための「場」を生み出すプロジェクトととらえ、ワークショップ、建築映画、デザイン教育を主なテーマに、建築を介した社会との新しいコミュニケーションの創造に取り組んでいます。



▶学内外、国内外などをフィールドに旅をしつつ、国際交流・地域交流しながら展開する「トラベリングワークショップ」

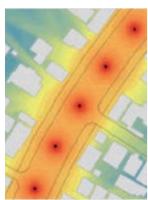
建築・都市音環境研究室

建築・都市空間に埋もれる音の価値を顕在化する



平栗 靖浩 教授

情報技術を活用して、これまで潜在化していた音の価値の顕在化をめざしています。都市騒音の可視化が社会にもたらす影響や、IoTデバイスを用いたセンシングで音環境と労働生産性の関係について研究しています。



▶道路交通騒音を音源とした市街地のノイズマップの計算例

木質構造・構造デザイン研究室

新しい木質構造で強く、人と環境にやさしい構造デザインを追求



福本 晃治 教授

木質構造を用いた新しい構造システムの開発に取り組んでいます。とくに、木質構造とコンクリート構造や鋼構造を適材適所に組み合わせたハイブリッド構造に注目。長年にわたる構造設計の経験を生かし、設計と研究開発の二刀流で、強く、人と環境にやさしい構造デザインを追求しています。



▶木質構造の梁で大スパンを実現するため、鋼材とCLT直交集成板による合成梁を開発し、実際の構造デザインに展開した実例

住宅計画研究室

居住者の視点から住環境について考察し、より良い住宅・住宅地のあり方を探る



佐野 こずえ 講師

実際に住む人はどのような箇所を便利・不便と感じ、日々暮らしているのか。そんな居住者の視点から、設定したテーマに基づく生活者へのアンケートや調査などを通して住環境を考察し、より良い住宅・住宅地のあり方を提案しています。



▶住宅模型作成の指導

西洋建築史研究室

都市的、土木的といった複数の視点から西洋の建築物を考察



會田 涼子 講師

西洋、とくにルネサンス文化を生んだイタリアの歴史的都市フィレンツェを対象に、「建築物がいかに多様な条件から成り立ち、空間や様式がデザインされてきたのか」について研究。建築単体だけでなく、建築を取り巻くさまざまな視点から多面的に考察を進めています。



▶19世紀に丘上に建設された広場からのフィレンツェの眺望(上)と、広場を設計した建築家による建築物の立面(下)

建築・都市環境材料研究室

建築・都市環境、材料学などさまざまな観点から複合的に建築を考えていく



菅原 彬子 講師

建築・都市空間における環境と材料学の相互作用に関する研究を行っています。材料の物性・構造などにより、居住環境を制御することで空間の快適性などを考えます。建築・都市環境と材料の両観点から建築を考えられるのがゼミの魅力です。



▶音を制御するフォノンニック結晶。特定の高さの音だけカットできる

建築・環境デザイン研究室

住宅や福祉施設の居住環境をより良くするための設計を探求する



山隈 直人 教授

建築の設計、そのなかでも住宅と福祉施設設計を中心にしています。生活に密着した、人間にとって身近な建築について勉強することはとても大事でやりがいのあるものです。ゼミでも、住宅や福祉施設のより良い設計をするための提案や調査を進めています。



▶住宅高齢者一人暮らしの住宅と事務スペースを合わせた建築。将来の車椅子生活を考慮した家を実現した

建築・コミュニティデザイン研究室

これからの建築設計者として地域の価値を高める実践の研究



駒田 由香 教授

領域を横断し地域にコミュニティを生む事例のリサーチにより、今までになかった価値を創る建築の研究に取り組みます。建築設計者として、建築の向かうべき将来像についても議論を重ねたいと思います。



▶自身で運営する「西葛西アパートメント」でのマルシェイベントの様子

地域マネジメント研究室

企画マネジメント力を身につけてまちづくりの実践へ



寺川 政司 准教授

コミュニティ、行政、専門家など多様な主体の役割を意識し、生活にかかわる多角的な視点から、持続可能なまちづくりを具現化する建築・都市計画事業の企画および地域マネジメントの成立要因や手法を研究し、実践力を培います。



▶コミュニティカフェ「ふらここ」空き店舗リノベーションプロジェクト

建築・共生デザイン研究室

建築の設計を考え、価値観や設計の射程を探究



魚谷 剛紀 講師

建築設計やデザインをもとに、建築設計が担える射程について広く探究します。地形や環境などの背景的分析、多様な利用者や時間的変化をリサーチし、既存の価値観や関係の更新、建築・共生について、設計を通して考えます。



▶設計した施設の内観。利用者が見え隠れし自ら居場所を見つけられる開かれた高齢者施設

建築意匠設計研究室

現代の建築設計の実践と考察



今村 水紀 講師

新しい建築、現代性を伴う建築はどのようにつくることができるのか、それを実践とリサーチの両面から探求していきます。建築の設計手法や風景との関係性など多角的な視点から、建築の計画、設計と研究に取り組みます。



▶設計した鎌倉アパートメント、テラスの先端にある銅の網戸が街との境界を柔らかく形づくる

建築計画研究室

人口減少時代の“新たな建築計画”を考え、持続可能な地域社会を実現する



浦井 亮太郎 助教

人口減少が進む現代において、地域社会の持続可能性と活性化を支えるための“新たな建築計画”のあり方を模索。コミュニティデザインや関係人口、地域住民主体の場づくりといったテーマに焦点を当て研究を進めます。



▶高野山の公立中学校で4年間にわたって実施した「まちづくり学習」の様子。生徒、教員、地域住民のまちづくりに関する意識の変化を促し、地域コミュニティの強化に貢献。2023年度関西まちづくり賞にて奨励賞受賞

都市住宅研究室

都市、建築、住宅、そして住生活を持続的に利用するためのマネジメントとは？



関川 華 准教授

多様な価値観を持つ居住者が共同で利用する集合住宅をより持続的に利用するには、どのようなマネジメントが必要なのでしょう？ 集合住宅の歴史がある海外の管理体制や日本の事例を通して、住宅だけでなく居住者の生活を支えるマネジメントや建築社会システムを考究します。



▶高経年集合住宅を管理しながら、長期利用している例。調査フィールドはフランス、パリ市。1920年代築の社会住宅

ランドスケープデザイン研究室

ランドスケープ/風景をデザインすること



宮原 克昇 准教授

ランドスケープアーキテクトとは屋外空間のデザインを専門とする分野です。土地のコンテキストを読み取り、大地、植物、水、石などの自然素材を駆使し、人々に感動を与え、長く愛される風景の創出を目指します。



▶ロンドンのダイナミックな造形の大地と水景が人々に聴い空間を提供している

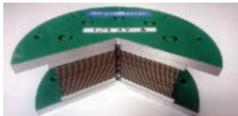
建築構造学研究室

より安全で安心な免震構造の実現に向けて



犬伏 徹志 准教授

当研究室では、より安全・安心な免震構造を実現するための、実験的・解析的研究を行っています。また、地震時の建物挙動を評価する上で重要となる地盤構造の評価や、建物との動的相互作用についても取り組んでいます。



▶免震部材の1つである天然ゴム系積層ゴム支承の1/4スケール模型

構造・材料工学研究室

鋼構造物の保有性能や効率的な設計・施工法を研究



高塚 康平 助教

地震大国である日本において、設計者が適切に設計、施工者が効率的に製作、使用者が安全に使用できる建物を実現すべく、主に鋼構造物の部材や接合部の保有性能を研究し、効率的な設計・施工法の実現をめざします。



▶鋼構造物内の柱梁接合部を部分的に再現した試験体を対象に、地震動を模擬した載荷実験を行い、破断までの変形能力を調査する様子

教養・基礎教育部門

建築について世界中の人と英語で話そう



橋本 啓子 教授

建築学部に特化した英語の講義を担当します。私の専門はインテリアデザイン史、西洋建築史・美術史で、近年は日本の現代インテリアに関する本や論文を英語で執筆し、海外に紹介しています。建築学と英語を合わせれば、世界中の人とコミュニケーションができます。ぜひ本学部で両方とも自分のものにしましょう！



▶近年、執筆・翻訳したデザイン、アートの本籍

教養・基礎教育部門

自分の考えを英語で世界に発信しましょう



宮永 正治 准教授

専門分野における英語コミュニケーション能力の育成を目的に、授業では受講者自身の考えを英語で発信する能力の向上をめざしています。授業はみなさんが英語を使う場ですので、失敗を恐れずに積極的に参加してもらうことに重点を置いています。



▶Supercomputing 08 (米国テキサス州オースティン)でのポスター展示・発表とワークショップでの発表の様子

都市・建築史研究室

建築および都市の歴史を把握する作業を通して、深い洞察力を身につける



岡村 健太郎 准教授

建築や都市は時に人の寿命よりも長く持続するからこそ、その発生要因や前提条件を把握した上で未来を見通せば、より深い洞察力を得られます。文献資料や理論的フレームワークの構築など机上における調査と、現場でのフィールドワークの双方を何度も往復することで、思考を鍛える研究スタイルです。



▶85年前に三陸で発生した津波後に、復興住宅として建てられた民家の実測図面

都市編集研究室

都市・空間を魅力的に変える新たなあり方、アーバンエディティングを研究



韓 勝旭 准教授

文系・理系を問わず自分が持っている嗜好や視座をもとに、スペースデザインを通じてまちなかに潜在している小さいけれど確かな幸せの空間を探求・再発見・共有し、都市・空間を魅力的に編集する研究を行います。



▶標高2,380mの高地にあるペルーの第二の都市、アレキパをスペースディングし、自分なりの方法で記録

建築社会システム研究室

「所有から利用へ」維持・更新を中心とするマネジメント手法を研究



池尻 隆史 准教授

「所有から利用へ」をキーワードに維持・更新を中心とした建築の計画・マネジメント手法を研究。本格的な人口減少時代を見据えた新築に依存しない建築生産のありかた、既存建築ストックの利活用のありかたなどについて、調査研究を実施しています。



▶インド・ムンバイのスラム再開発現場

教養・基礎教育部門

英語はアイデアを説明したり、デザインを共有したり、国際的に活躍するためのツール！



バルー ケビン 准教授

世界中の建築家、デザイナー、エンジニアが英語を使いコミュニケーションを取っています。授業では実生活で活用できる英語を練習し、目標と夢を達成するために必要な英語でのコミュニケーションスキルの上達をサポートします。



▶カンボジアへのスタディーツアーにて、参加した生徒たちはアンコールワットとカンボジアが直面する問題を学び、カンボジアの人たちと互いの文化や日々の生活について英語で意見交換をした



※教員組織は2025年度のもので、2026年度は変更になる場合があります。

留学生活で、自分をもっと高いレベルへ

海外協定大学への約1年間の海外生活を通して、実践的な語学力の向上と多様な価値観を身につけられる「交換留学・派遣留学」を実施。

留学 ※現地の情勢等により変更または中止になる場合があります。

世界で活躍する建築家になるための実践的なスキルが身についた

留学先 アメリカ ウェストバージニア大学
月岡 平さん
建築学科 2016年3月卒業
カルフォルニア大学
ロサンゼルス校 (UCLA) 大学院 修了
Andmore Partners
(アメリカ ロサンゼルス) 勤務

現在は、ロサンゼルス設計事務所、集合住宅、商業施設を中心に設計。プロジェクトの契約から施工まで、基本的な設計、構造・設備などコンサルタントとの協議、クライアントへのプレゼン資料作成、役所への申請など、全ての過程を包括的に担っています。数日かけた基本設計がなかなか通らず落ち込むこともありましたが、逆にクライアントや上司から大きな評価を得た時はやりがいも大きいです。在学中のウェストバージニア大学への交換留学や、学部卒業後に進学したUCLA大学院では、デザインの基礎力とポキャブラリー、そしてデザインを他者に伝える力が身につきました。チームで仕事を進める中、図面やCGを用い、英語を使ってコミュニケーションをとった経験が、現在の仕事に役立っています。アメリカや日本にこだわらず、世界中を拠点におもしろい人たちと仕事をすることが夢です。



プロジェクトのCGパース

自分の発想にない建築表現や考え方を学びに、フランスへ

留学先 フランス パリ ラ・ヴィレット建築学校
佐々木 晴菜さん
総合理工学研究科
建築デザイン専攻 2023年3月卒業

学部3年生のときに、フランスの交換留学生とプロジェクトに取り組んだのが留学を決意しました。彼らの建築表現や考え方に大きな感銘を受け、同じ学校で学びたいと考えました。留学先のラ・ヴィレット建築学校は、世界各国から留学生が集まっていて日本とは全く違う学校生活に刺激を受けました。設計演習では、パリ内の移民のまちに入り込み都市分析調査を実施。最初はよそ者扱いでしたが、通い続けることで少しずつ認められるようになり、フィールドワークには根気がいることを体感できた貴重な機会でした。他にも舞台芸術を学ぶ授業やクアアチアやフィンランドを訪れた経験も印象的です。留学を通して、教育や企画運営など建築以外の分野にも興味を広げました。現地の建築学生の自由な生き方に触れ、旅行や仲間との付き合いなど、人生を豊かにする刺激が仕事にも良い影響を及ぼすと気づけたのも大きな収穫の一つです。



ラ・ヴィレット建築大学の製図室



スクールトリップでクアアチアへ

近畿大学の国際交流プログラム ※現地の情勢等により変更または中止になる場合があります。

短期語学研修

実施大学 ※2024年度実績

夏期または春期休暇で伸ばす、実践的な語学力。ホームステイなどの学外プログラムも豊富です。

夏期や春期休暇を利用して、約3~4週間の短期海外留学制度。海外の大学で行われる講義やディスカッションへの参加を通して、実践的な語学力を修得します。語学レベルが初級の方でも安心して海外の大学で学べる環境を整えています。

Table with columns for destination (Canada, Australia, New Zealand, Europe, Asia, etc.) and university names.

1または2学期で確かな実力を身につける長期留学。単位の認定により、4年間での卒業が可能です。

本学による審査を経て、交換・派遣・認定留学をした場合、留学期間が本学での修業年限に算入され、専門分野に応じた科目が単位認定されます。また、本学から奨励金を給付します。

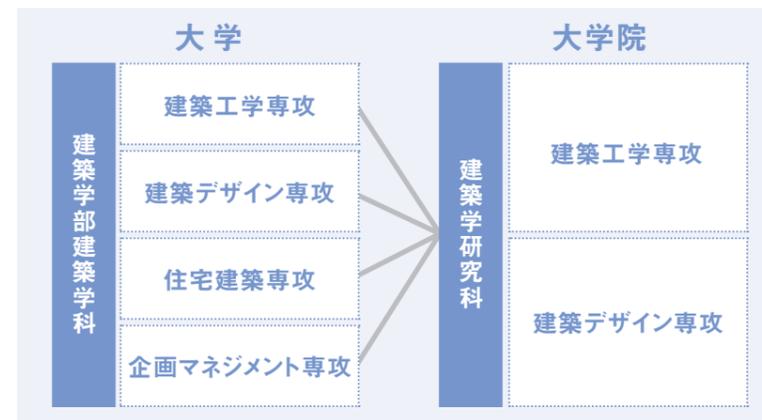
認定留学 ……近畿大学が交換・派遣留学先として指定している大学へ留学し、専門分野を学びます。

Large table listing international exchange and dispatch programs with columns for country, university, and program details.

2025年2月時点

建築工学専攻、建築デザイン専攻の2専攻で、新たな環境・デザインを創造する人材を育成

近畿大学の持つ総合性を最大限に引き出す画期的なシステムと、各教員の優れた研究成果に支えられる充実の教育によって、社会で即戦力となる専門的職業人を育成します。(総合理工学研究科 環境系工学専攻、建築デザイン専攻を母体として、2026年4月建築学研究科 建築工学専攻、建築デザイン専攻を新設)



建築工学専攻

地球環境保全や社会基盤形成に関係する建築工学分野の専門知識を修得し、先端研究に携わることを通じて、学問・研究に対する積極的な意欲を有し、高度な知識・分析力・総合力を持つ高い倫理観を備えた技術者・研究者および事業者を養成します。

建築デザイン専攻

建築デザイン分野の高度な専門知識を修得し、実践的な演習などを通じて、社会の課題を解決へと導く優れたデザイン能力とプレゼンテーション能力、そして国際的な視野と高い倫理観を持ち、他分野と協働しながら計画的に建築デザインを実践することのできる、総合的な専門技術者および事業者を養成します。

※2026年4月開設予定(設置構想中)設置計画は予定であり、内容が変更になる可能性があります。

在学生インタビュー

工事現場の印象を変える“仮囲い”の利活用やデザインを研究



関谷 百花さん 総合理工学研究科 環境系工学専攻[2年]

日本において、ネガティブな印象を持たれやすい傾向にある工事現場。その固定イメージを少しでも変えたいと考え、工事現場外の人に最も近い“仮囲い”に注目し、その利活用やデザインを研究しています。調査事例をもとに、「千里ニュータウン」の団地建て替えの仮囲いを実際にデザインし、フォトブック製作や現地のアンケート調査も行いました。先行研究が少なく手探り中ですが、最近では仮囲いの活用も一般的になり、デザインの幅も広がっているところ。私の研究をきっかけに、仮囲いや工事現場への関心を少しでも高めていけたらと考えています。

木造構造研究室で、木造と鉄骨のハイブリッド部材を開発!



笹野 貴子さん 総合理工学研究科 環境系工学専攻[2年]

社会に出ても通用する、木造建築物の専門知識や実験・解析の手法を身につけたいと大学院へ。今は木造と鉄骨のハイブリッドな接合部の開発に携わり、実用化に向けた実験データの整理などを行っています。自作した試験体で実験を進めるため、自分の設計が形になり研究に生かされるやりがいも。公共建築物の木造化を推進する法律が施行されたことにより需要がさらに高まる研究分野で、学ぶ意義も大きいです。将来は木造中高層建築物の設計が目標。近年、木造は他の構法とのハイブリッド構法も普及しつつあるため、構法の知識も深めていきたいです。

建築模型を紐解いていくと、建築家の狙いを知れておもしろい



川村 智也さん 総合理工学研究科 建築デザイン専攻[1年]

AACA優秀賞など受賞歴多数の現役建築家である垣田教授のもとで、もっと深く詳細に建築を学びたいと考え進学を決めました。大学院では、建築模型を通して、構造や部材の収まり、細部のデザインを理解し、自分の設計へ生かしているようインプットを増やしているところ。デザインや細かなつくりこみから建築家の意図を汲み取っていかなく、建築の奥深さを知れる点がおもしろいです。今は企業と連携し、動物園のマスタープランや展示空間の設計に挑戦中。これまで学んだ細部までをデザインする技能、考えを生かし、いずれは人々を魅了する空間を設計していきたいです。

バルコニーの安全性向上をめざす、事例の少ない研究に挑戦



伊藤 貴和子さん 総合理工学研究科 建築デザイン専攻[2年]

ルーバルコニー下空間の温度変動に関する研究を行っています。厚い床下地合板を直接梁材に留め付ける剛床工法のバルコニーの床は、下地合板と勾配根太で密閉空間になり、工事中の雨などで水分が蓄積されやすい状態になります。その結果、含水率の上昇など耐久性に問題が生じます。そこで通気経路を確保して温湿度環境を改善し、耐久性の向上を図るのが研究の狙いです。実寸大の試験体を用いて剛床に穴を開けたり、床を浮かしたりして温湿度と含水率を測定するのですが、仕様ごとの測定結果の違いがおもしろいです。先例があまり無い研究だからこそ、新しい挑戦ができるやりがいがあります。

実学社会起業イノベーション学位プログラム

2023年4月、起業やイノベーション創生を通じて社会課題を解決する人材の育成を目的に、「実学社会起業イノベーション学位プログラム」を開設しました。このプログラムは、起業経験がある方はもちろん、これから起業を志す方や、NPOやNGOにおいて社会課題の解決をめざす方など幅広く受け入れています。大学院でさらなる知識や経験を深めることで、事業の成長をめざすことができます。また、国内最大規模のベンチャー投資会社であるインキュベイトファンド株式会社や、公益財団法人大阪産業局との包括連携協定を通じて、起業に必要な人脈作りもサポートしています。



学生がビジネスのアイデアを発表する様子

充実の施設・設備と洗練された空間の中、建築の基礎とセンスを磨く

建築を学ぶうえで必要な、さまざまな施設があります。理想的な教育・環境の下で明日の建築界を担う人材を育成しています。

33号館



デザイン・コモンズ / 学生や教員が気軽に集まり、自由なアイデアを創出する学修空間



第3製図室



403教室 / 自習利用も可能な、学内でも珍しい木目を基調とした学修スペース



1Fギャラリー / 年間を通してコンペティション入賞の模型作品展、教員展などが行われるスペース



共同実験室 (大型構造物試験装置)

34号館

ACADEMIC THEATER

文理の垣根を越えて社会の諸問題を解決に導くための学術拠点。学生が教職員のみならず、卒業生、企業人、地域住民など多様な人々と出会い、自由に語り、学び、情報を発信できる集いの場です。



esports Arena



コンピュータゲームやモバイルゲームの対戦を競技としてとらえ、急激に成長しているesports。大学の教育研究を通じて優秀な人材を育成する拠点として設置した、esports施設です。全学生が利用できるこの施設では、プレイヤーとして技術・知識を身につけることはもちろんのこと、高性能な照明・音響・配信機器を完備しているため、イベントの企画運営などを通じてesports関連のさまざまな技術・知識を学ぶことができます。また、外部団体が施設をレンタルして、大会やイベントを開催することも可能です。

KINCUBA Basecamp

起業マインド旺盛な学生や教員が集まり、自由な交流・ディスカッションを通して新たな事業アイデアを生み出すなど、起業にチャレンジするきっかけを創出するインキュベーション施設です。法人登記の際は、この施設の住所を使用することが可能。24時間利用可能で、入館時の顔認証システム導入や夜間の見回りなど安全面にも配慮しています。起業家や経営者をはじめとした、多彩なゲストの講演・座談会も実施しています。



THE GARAGE



大学と地元企業がお互いの垣根を越え、研究シーズやアイデアを持ち寄り新たな価値を創り出すものづくり拠点。3Dプリンターや3Dスキャナー、UVプリンター、レーザーカッターといったものづくりのための機械が設置されており、学生は自由に使用することができます。新しい感性で試行錯誤を繰り返しながら実験的なプロトタイプを自由に製作し、商品開発や技術開発にも挑戦できるようにサポートします。

奨学金

奨学金は2025年度入学生のもので、2026年度は変更になる可能性があります。詳細は近畿大学ホームページをご参照ください。

入学試験の成績優秀者対象特待生制度

入学試験の成績優秀者に4年間の授業料を全額免除します。※継続条件:各年度の履修登録制限内で24単位以上を修得し、その単位修得科目の総合平均点が80点以上の者。その他優遇処分を受けるなどがあった場合は、免除資格を喪失する。

- 一般入試・前期 (A日程・B日程) 得点75%以上かつ上位社からA日程10位以内、B日程8位以内。
- 共通テスト利用方式 (前期) 得点率80%以上かつ上位者から9位以内。

在学中の成績優秀者対象特待制度

次の条件を満たす成績優秀者には、当該年度の授業料を全額免除します。

- ① TOEIC L&Rの成績が600点以上 (申請をする前年度4月1日以降に実施したもの)
- ② 申請をする年度に24単位以上修得し、その平均点が90点以上で進級した者

近畿大学独自の奨学金

区分	時期・期間	名称	内容
給付 (返還不要)	在学中	世耕弘一奨学金 (給付) ※1	年額 / 300,000円
貸与 (無利子・一括型)	在学中	近畿大学奨学金 (定期採用) ※2	年額 / 600,000円

※1 入学前予約採用型の制度もあります。 ※2 薬学部医療薬学科は年額/800,000円

日本学生支援機構奨学金

※第一種、第二種とも高等学校など不在籍時に予約採用の制度があります。在籍の高等学校などにお問い合わせください。

区分	時期・期間	名称	内容
貸与 (無利子・有利子)	在学中	第一種奨学金 (無利子・選択型)	〈自宅通学〉月額 20,000円～54,000円 〈自宅外通学〉月額 20,000円～64,000円 (家計支持者の収入基準額により選択できます。最高月額併用貸与の家計基準に該当する場合のみ利用できます。)
		第二種奨学金 (有利子・選択型)	希望する奨学金の月額を次のなかから選べます。 20,000円～120,000円 (1万円単位から選択) 貸与途中で月額を変更することもできます。 ※医学部40,000円、薬学部20,000円の増額も可能。(ただし、120,000円を選択した場合のみ) ※利息①利率固定方式 (貸与終了時に決定する利率で最後まで返還)、②利率見直し方式 (返還期間中おおよそ5年ごとに見直しされる利率で返還)より選択します。卒業あるいは退学した翌月から月額で利息が計算されます (在学中および返還期限満了前までは無利息)。

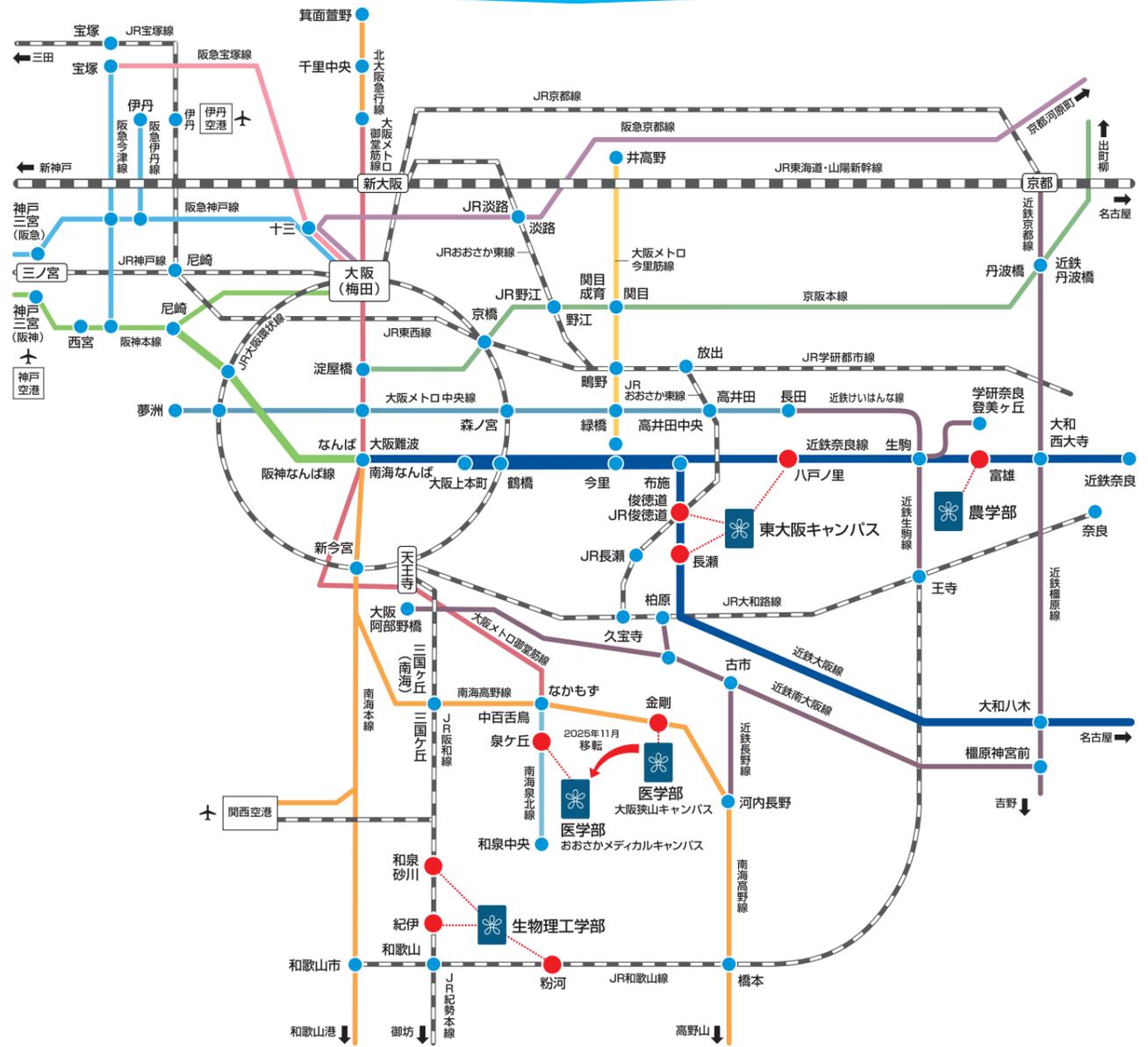
高等教育の修学支援制度

高等教育の修学支援制度 (授業料などの減免と給付型奨学金) について2019年9月20日に近畿大学および近畿大学短期大学部は文部科学省から対象機関として認定を受けています。

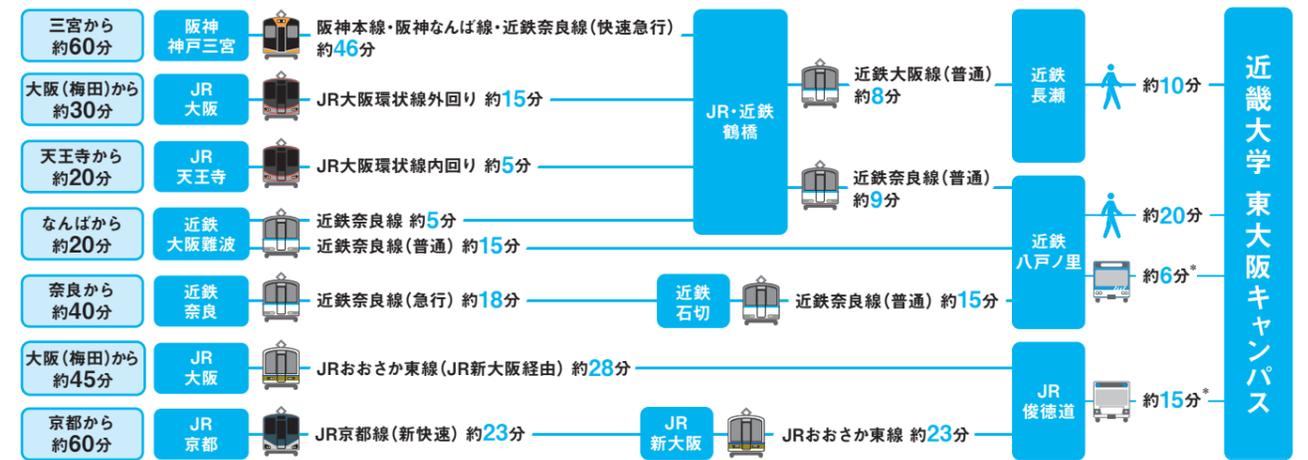
高等教育の修学支援制度はこちら



路線図



各主要駅からの経路・所要時間 (目安)



※各最短ルートを選択した場合。乗り換え時間は含まれません。
※駅から近畿大学への直通バスです。